



続・勇者ハーレムが

ぐちやぐちやに

されるお話

ストーリー

人類が魔族と激しい戦いを繰り広げていた時代…
魔王率いる魔導帝国と、神聖帝国を中心とした
人類連合の戦争は、激化の一途をたどっていた。

異世界から導入した機械兵器の数々により、
人類連合を圧倒する魔導帝国は、
敵対する周辺諸国を次々に占領下に置き
その版図を広げていた。

各地で敗北を続け、戦線の後退を余儀なくされていた
神聖帝国は、戦局の逆転を図るべく、
聖女の「神託」によって「勇者」を選抜した。

「神託の勇者」を中心として、
腕利きの冒険者と国軍の精鋭から選りすぐった
「魔王討伐隊」が、魔導帝国の本拠地、
魔界へ向けて出発した…

これまでのあらすじ

魔導帝国軍の苛烈な攻撃によって
「魔王討伐隊」はあえなく壊滅、
勇者たちは魔族に
捕縛され、凄惨な末路を辿ることとなる…



勇者の少年は四肢を落とされ
赤毛便器に成り下がった。



女騎士は不気味な老人の奴隷妻に、
冒険者の少女は非法の娼館に売り払われ、
魔女は苛烈な拷問の末、
城の地下に生き埋めにされた。



そして、勇者の母親代わりを務めた聖職者と、
勇者を兄と慕う冒険者見習いの少女にも…



ホモ便器

地の勇者

ルーク・バッシュケ

魔王様の命を狙った大罪人
まだ年若いことから、
魔王様の温情によって死罪を免れ
魔導帝国の国民に
奉仕する道を与えられる。
チャリティーオークションにて
金持ちの変態オヤジに買われ、
手足を切り落とした惨めな姿で
オナホ同然の扱いを受ける。



奴隷妻

「騎士」

アルティナ・ベイフォード

神聖帝国・白翼騎士団の副団長にして、

帝国
白翼
皇帝
次ぐ
帝国
勇者
魔王
同時
子種
貴族
当初はめくまで正義感からルークに接していたが、
旅の中でルークの人となりを知り、その優しさに触れて
「貴族の義務感」以上の感情を抱き始めている。

魔王様の命を狙った大罪人
首謀者の一人として死罪になる予定だったが、
若く健康であることから、有力者の奴隷妻として
払い下げられた。
逃亡防止のため手首と足首は切り落とされ、
毎夜種付け調教を受けている。

一方ルークからは「頼れる騎士様」「カッコいいお姉さん」
と思われており、彼女の貴族的（遠回し）なアプローチには
気付いていない。



冒険者(アバター)
ミナ・ルーコン

奴隷娼婦

魔王様の命を狙った大罪人の一人
奴隷として買い取られた後、非合法の娼館に転売され、
完全NG無しの奴隷娼婦として働かされている。
手足を切り落とされ、反抗する術を全く持たない
元冒険者の奴隷娼婦であり、冒険者に恨みを持つ
魔族たちから死亡寸前まで嬲られる日々を送っている。

侍人の少女

で高い。
多いが、
であった

おり、
えて

しかし、魔王討伐隊に参加する際の小隊編成において
女冒険者の小隊に振り分けられたことから
女であることがバレた。
それ以降はお互いに何かと意識し合うようになっている



「黒」

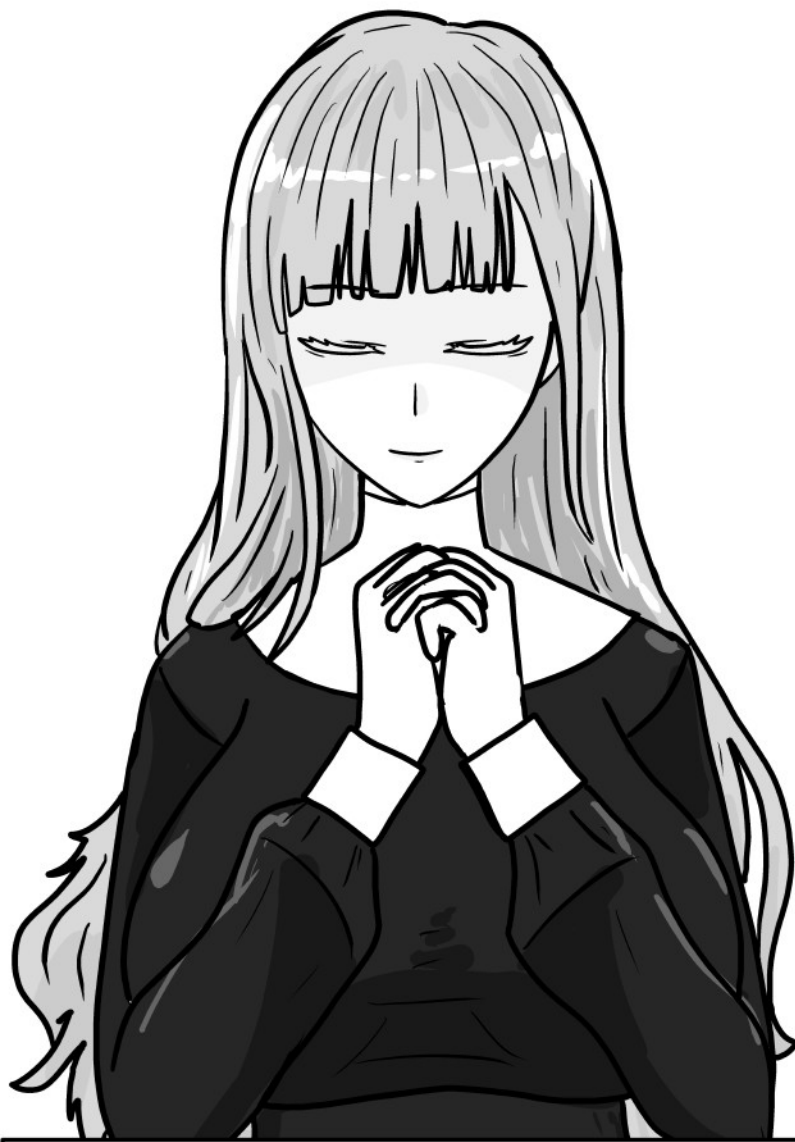
拷問部屋送り

アロウ

反魔族主義を掲げる魔導結社「星捧社」の魔女

魔王様の命を狙った大罪人
反魔導帝国を掲げる魔術組織「星捧社」の
上級幹部であることから、情報を引き出すための
徹底的な拷問が行われた。
数週間に及ぶ拷問で手足や眼球も全て失い、
最終的にはほとんど全ての重要情報を
漏らすことになった。
新たな情報が無いことが分かった後は、
魔力を搾取する機器につなぐられ、城の地下深くに
生き埋めにされた。

からかわれているとは分かっていても
ドキドキが抑えられず意識してしまう相手。



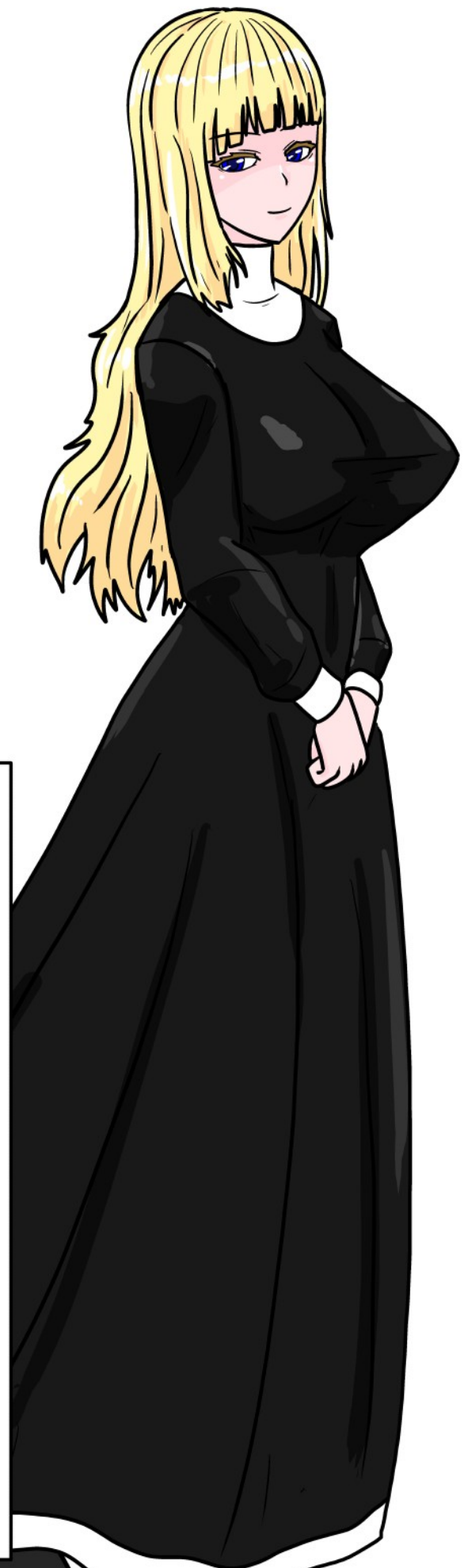
「慈愛の聖女」 アメリア・バッシュケ

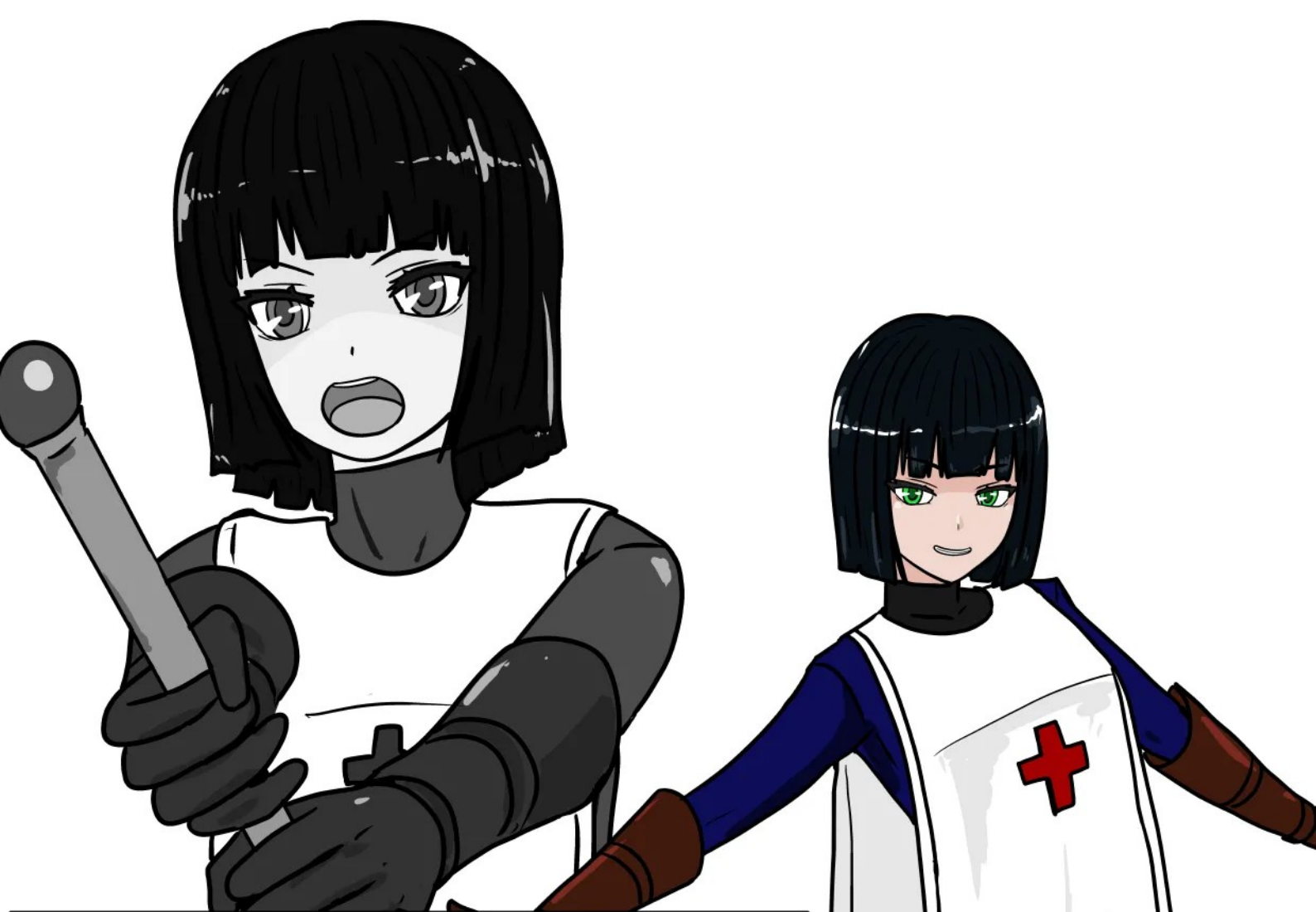
神聖帝国の片田舎で教会のシスターを務める聖職者。もともとは中央教会に所属しながら、冒険者として魔物討伐も行っていたが、孤児だったルークを引き取り、その際に冒険者を引退した。

ルークを含む孤児たちの「母親」として、また、ルークが冒険者として活動を開始してからは冒険者の先達として、愛情をもって世話と教育を行っていた。

ルークが「神託」によって勇者に選抜されるとルークの旅を支えるために冒険者に復帰、自ら魔王討伐隊に志願した。

ルークにとっては愛すべき家族・母親であるとともに、秘めた初恋の相手でもある。





ヒーラー見習い レイ・バッシュケ

ルーク同様、アメリアに引き取られた孤児の少女
アメリアに引き取られて以降、ルークを「兄さま」と慕い
冒険者となったルークの後追って、
自らも冒険者になるべく修行中。
腕利きの冒険者であったアメリアから教育を受けたため
同世代に比べて頭一つ抜けた能力を示す。

まだまだ半端な未熟者であり、
当初は冒険者ギルドへの加入と魔王討伐隊への参加は
許可されなかった。
しかし、保護者であるアメリアが勇者に同行すること、
勇者の近親者が誘拐されて人質として利用される
恐れがあることを考慮した結果、討伐帯に同行する方が
安全であると判断され、
見習いとして参加することになった。
兄の傍に女性が近づくと
露骨に不機嫌になるブラコンであるが、
当のルークからは「世話を焼くべき妹」と認識されており
女性としては見られていない。
ルークの初恋の相手が「母」であることに気付いており、
アメリアに対しては尊敬・愛情・感謝と
嫉妬・対抗心が複雑に絡んだ感情を抱いている。

あ、
♡

はあ、
あ、

は、

はあ、
あ、

は、

は、

あ、
♡

はあ、
あ、
♡



あゝあゝ♡

はあ

は

はあ♡

くちゅ くちゅ くちゅ
くちゅ くちゅ くちゅ
くちゅ くちゅ
くちゅ

ぐちゃ
ぐちゃ

ぐちゃ
ぐちゃ

あゝあゝ

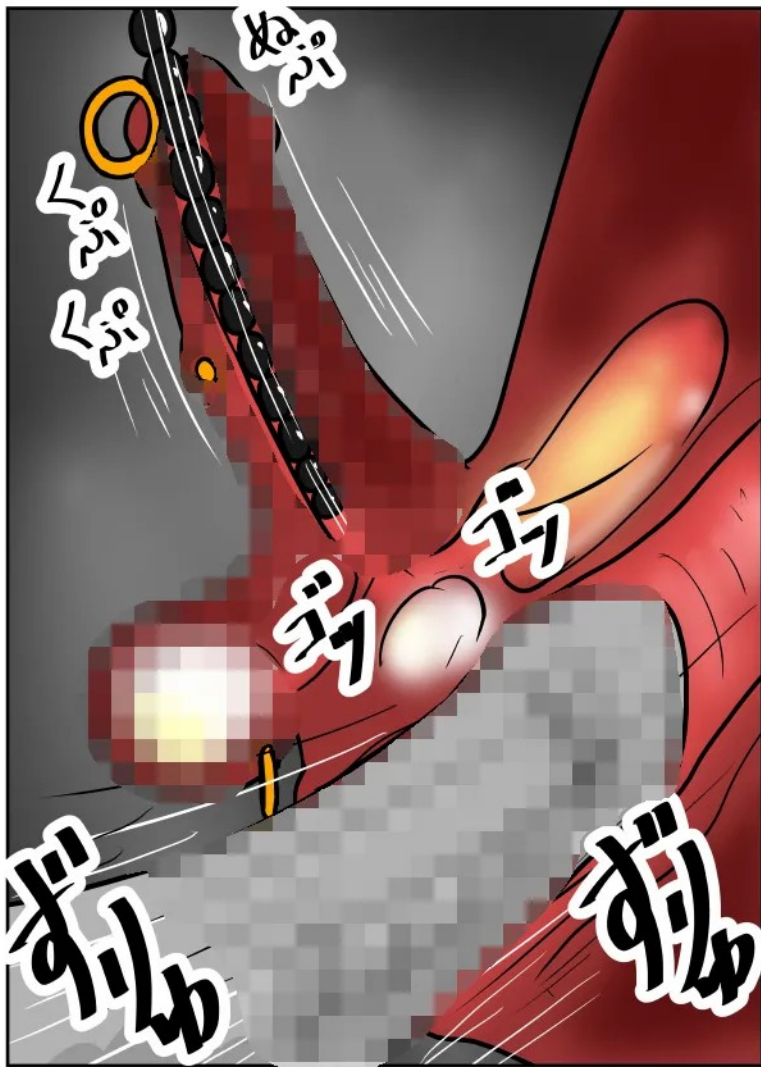
は

ぐちゃ

ぐちゃ

はあ

あー♡







勇者殿は精子の出が
あまり良くありませんなあ……

いっそのこと、
玉を潰して去勢ちんちんに
しましょうか？

ぐにゅ

やだ！

まって！

ぶる

ぶる
ぶる

ぶる

ぐにゅ

ぐにゅ

ダメ……！！

ぶる

ぶる

そうですか…
賛成1と反対1、
過半数に届かないので
現状維持ですな。

安心してください、
私は他人の意見も
尊重するタイプでしてね、
反対があるのに無理やり
意見を通したりはしませんよ。



そうそう、
勇者殿に朗報ですよ。
楽しくてすっかり忘れていました。

討伐隊の聖職者…
勇者殿のお母様に
会える手配が出来ました。





ゴブリンとはあまり取引がないので
伝手を辿るのに苦労しましたが…

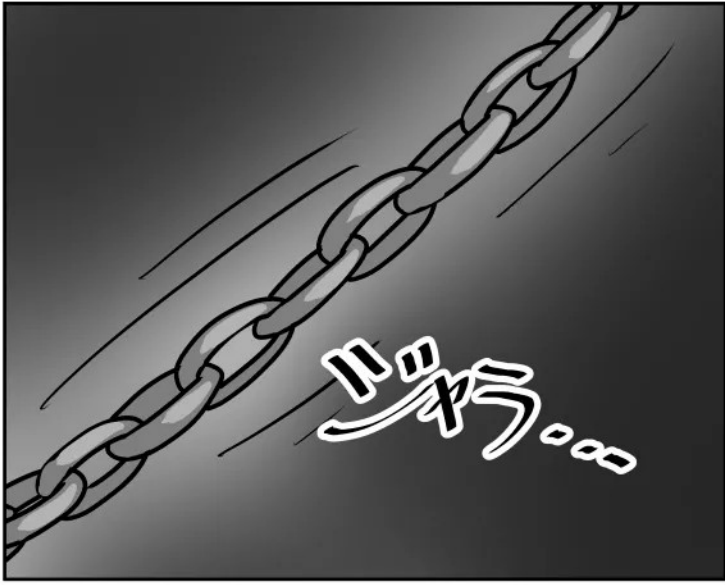
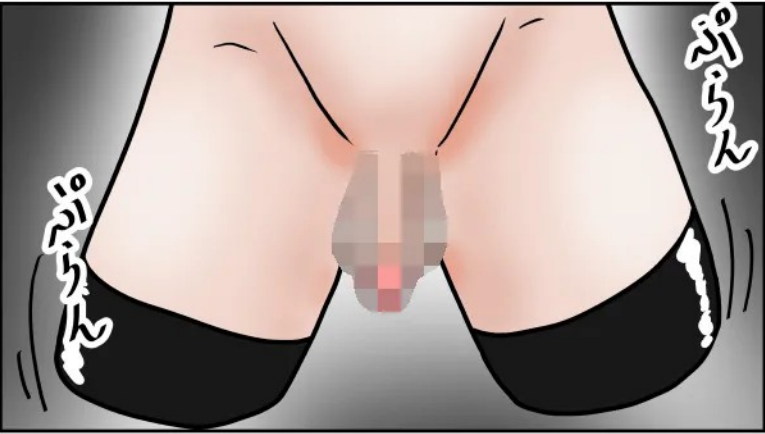
クラン
ゴブリンの大氏族に
孕み袋として飼われていましてね…



偏見など持たずに
いろいろと話を
してみるもんですな。



いやいや、
実際話してみると
陽気で楽しい連中ですよ。





ほら雌豚、
お前の息子だぞ。



(お母さま)
あうあはほ！



ルーク……!?

……!!



パ、パール様、
お初にお目にかかります…

お飾りの勇者の、
お飾りの母を務めておりました、

笑顔を忘れるな

今は偉大なるゴブリンの大氏族
ゼルツチの孕み袋を務めております、

肉便器28番と申します。

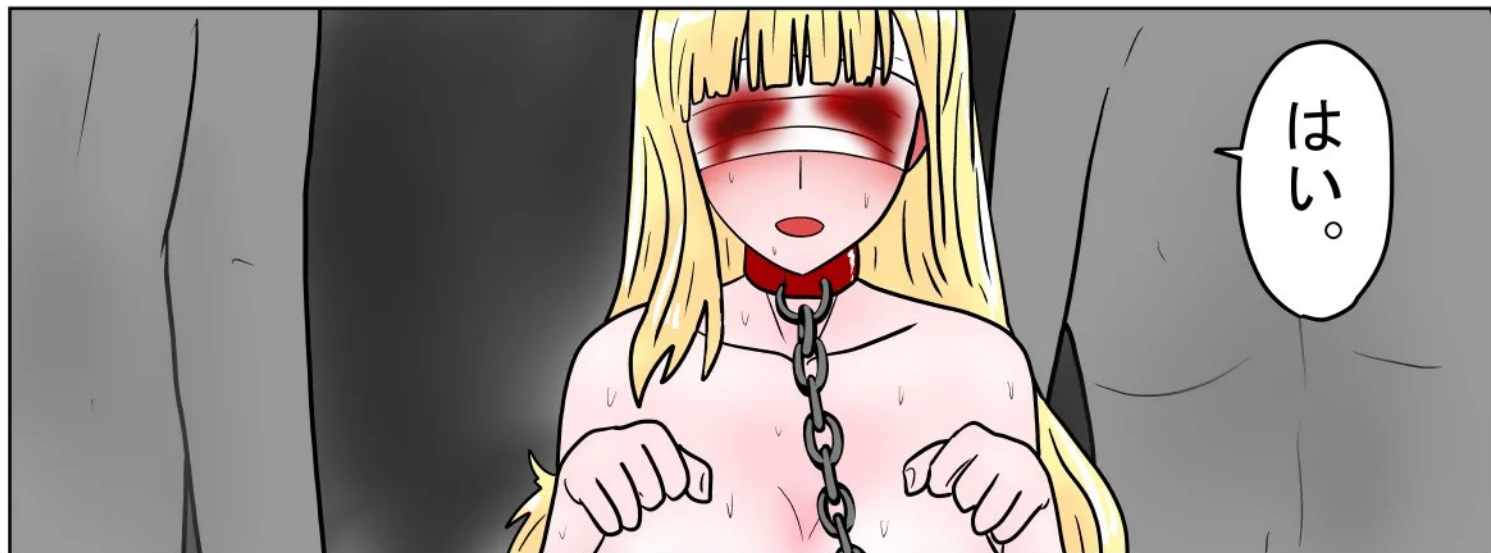
ポッ…

あ…

あめ…

よしよし、
えらいぞ
28番。

それじゃあ
買われてから
今までの調教を
勇者に説明してやれ



はい。



私はご主人様に購入していただいた後、
すぐにクランの
専用孕み袋にさせていただきました。

クランに所属する250名の
偉大なるゴ布林様全員に
種付けしていただいたのです。

離さない!!

やめてー!!

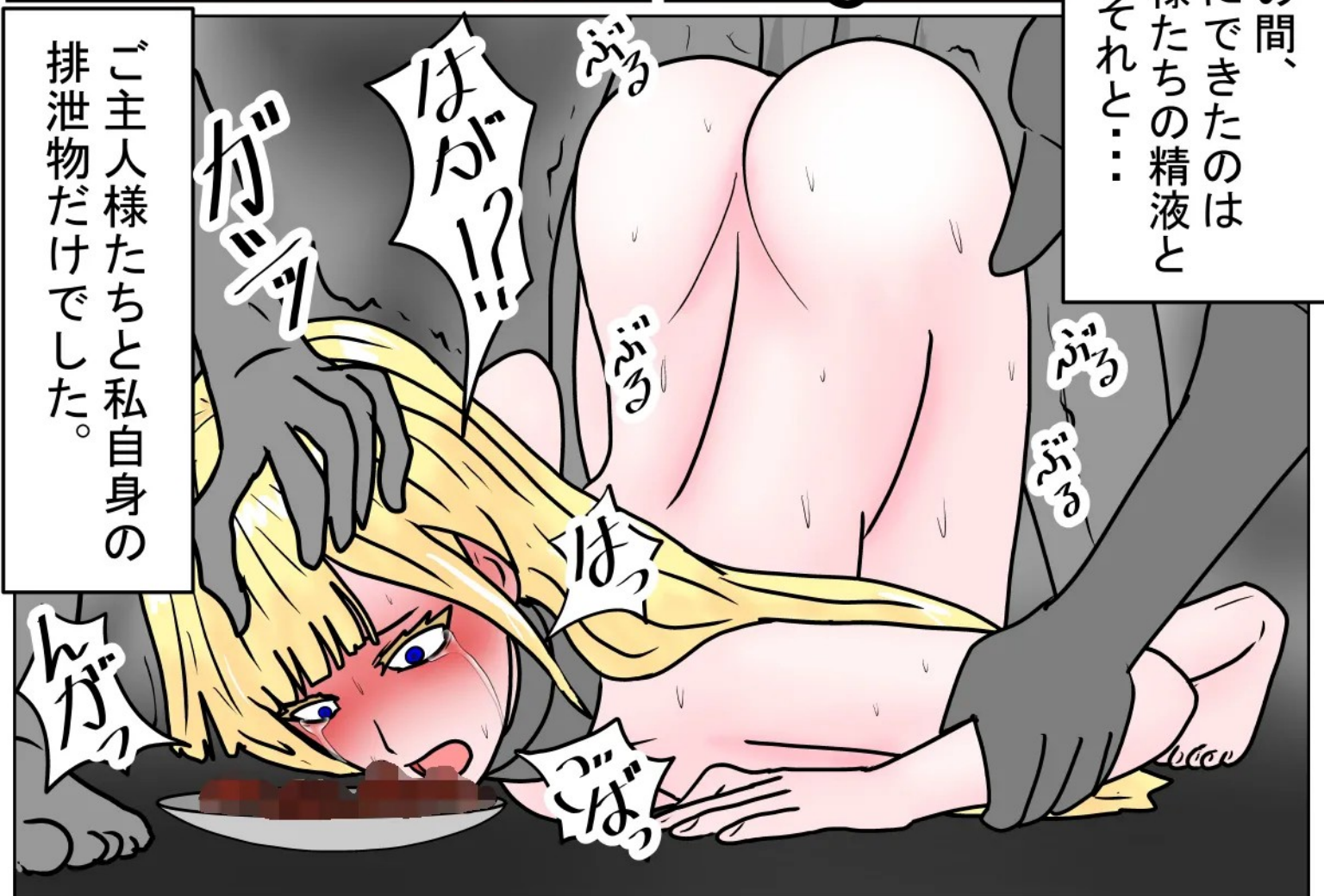
入らないで!!

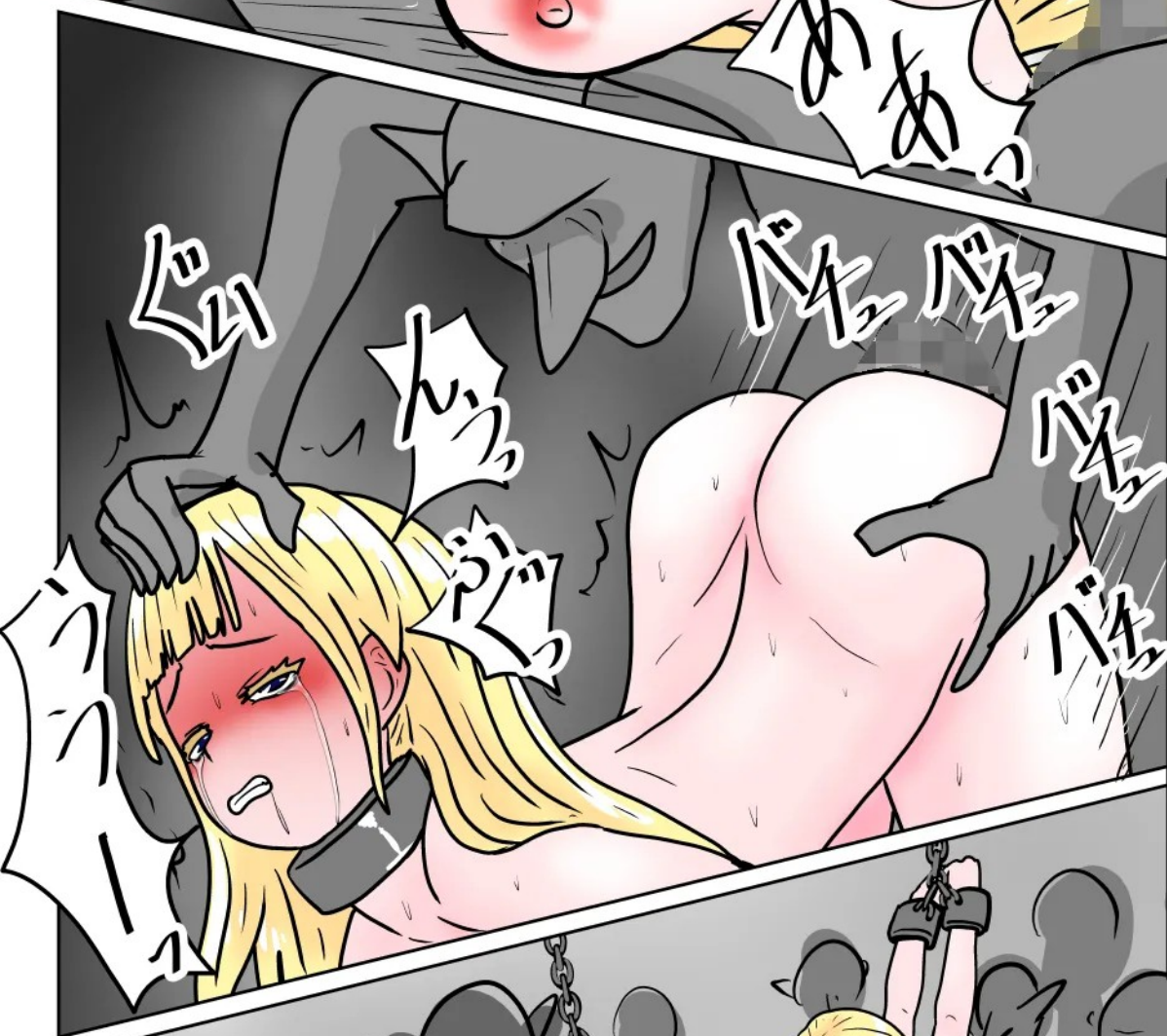
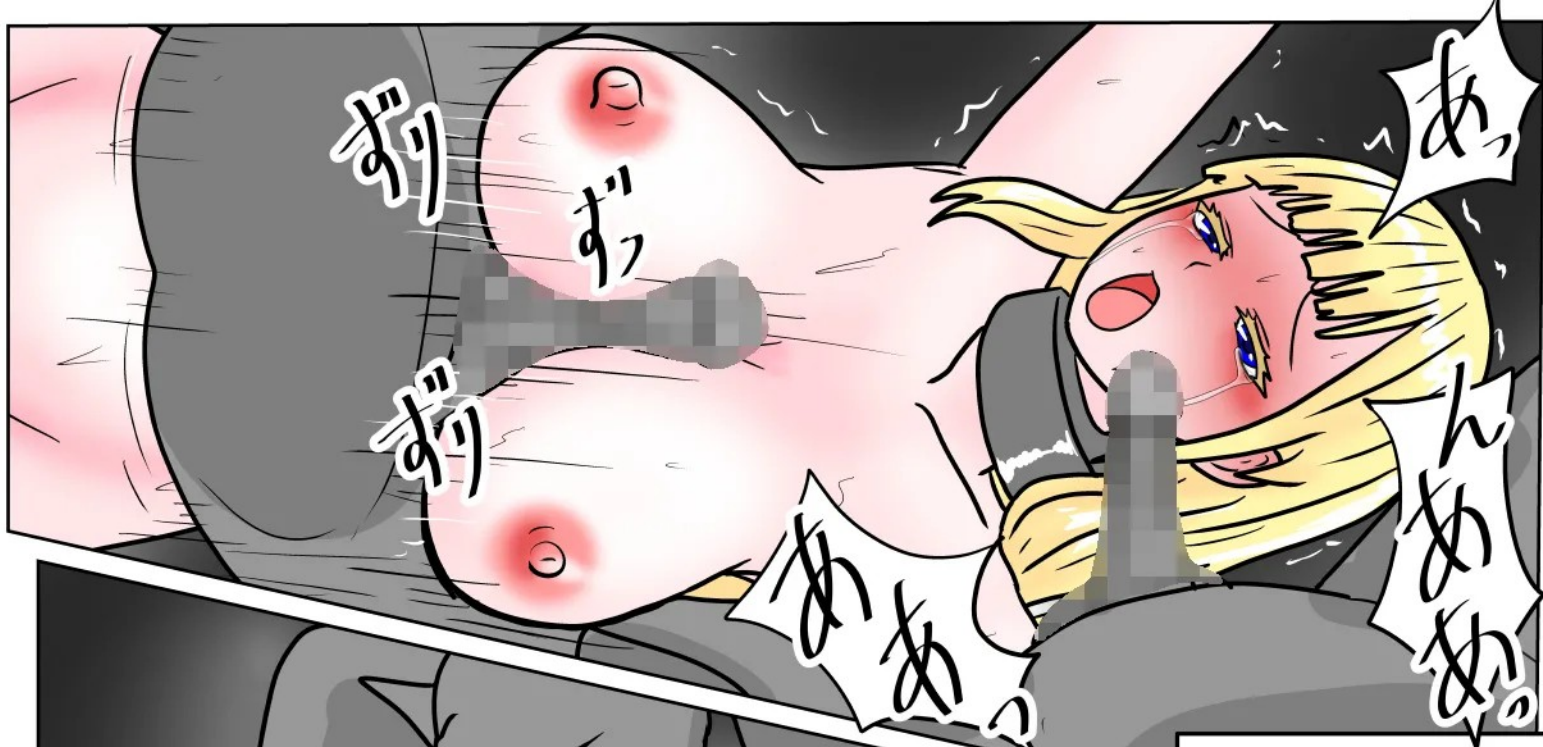
ぐっ

ぐっ



7日間の間、
私が口にできたのは
ご主人様たちの精液と
お小水、それと……





疲労や痛みから気を失っても、
体を引き裂くような刺激により
叩き起こされ、
穴という穴を、何度も何度も
犯され続けました。





それでねえ！聞いて！
なんとこの肉便器、
処女だったんだよ！

勇者の母親なのに！
処女！

ぐいっ



なんと！
女になる前に母親を
務めていたわけですか。

それは…ぷくくく、
何と言うか、ふふ、
なかなか…

泣かせる話ですなあ、
勇者殿！

まあ処女といても
結局は年増の緩い体でね、

膜を破ってから1日もたたずに
3本刺しでも余裕なくらい
ガバガバになっちゃったけどね！

ははははは！
それは傑作だ！

でしょ？

あははははは！

はははははははは！

ゲラゲラゲラ！



ああうあ！
(笑うな)

あいあおはひい！
(何がおかしい)

ああはんほははひふうほ
ふうははいほ！
(母様を馬鹿にするのは
許さないぞ)





さすが、がばマン女の
息子って感じだ！



はははは、
母親の痴態を見て
チンポおっ起ててくるくせに
よく言えますな！

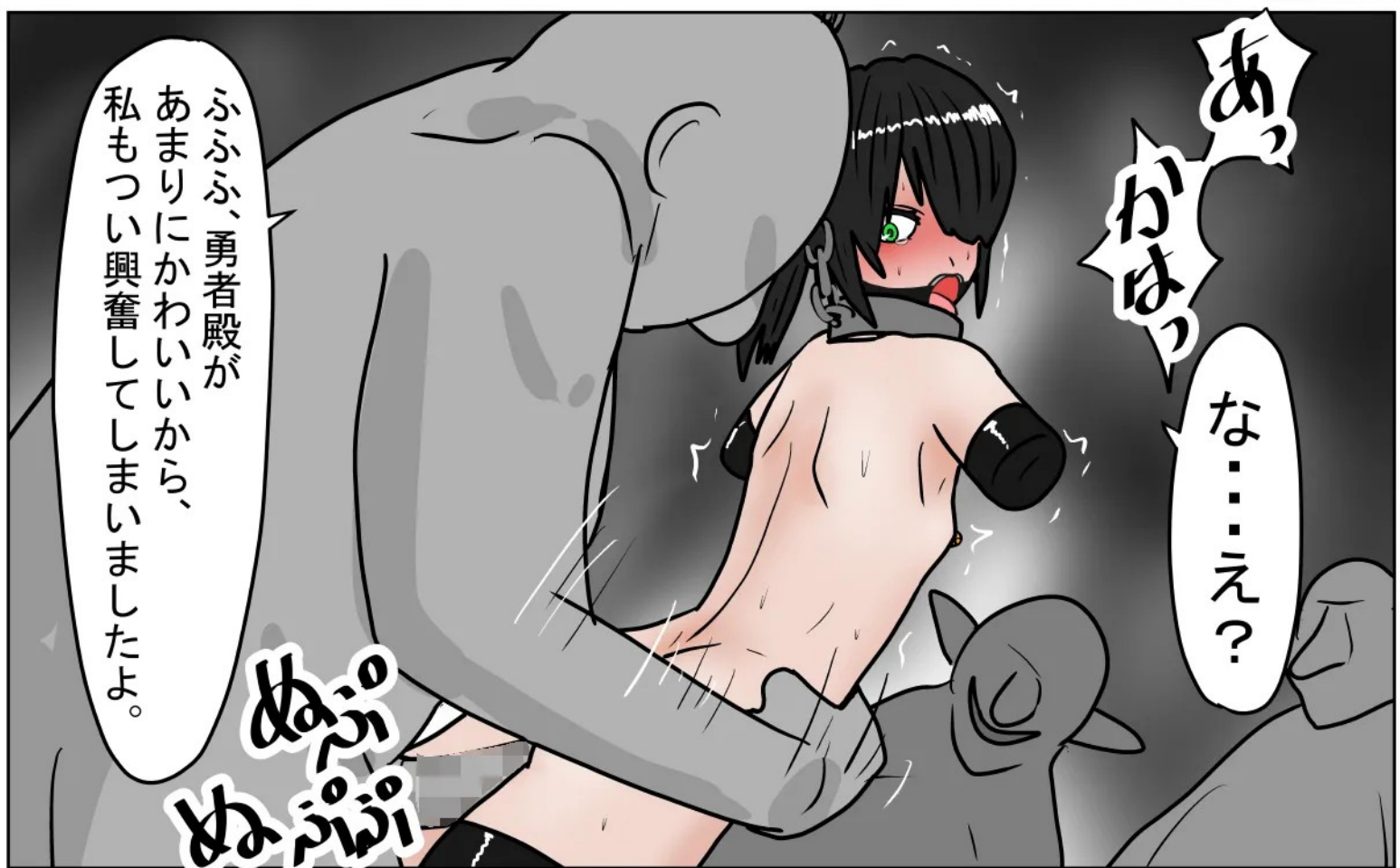
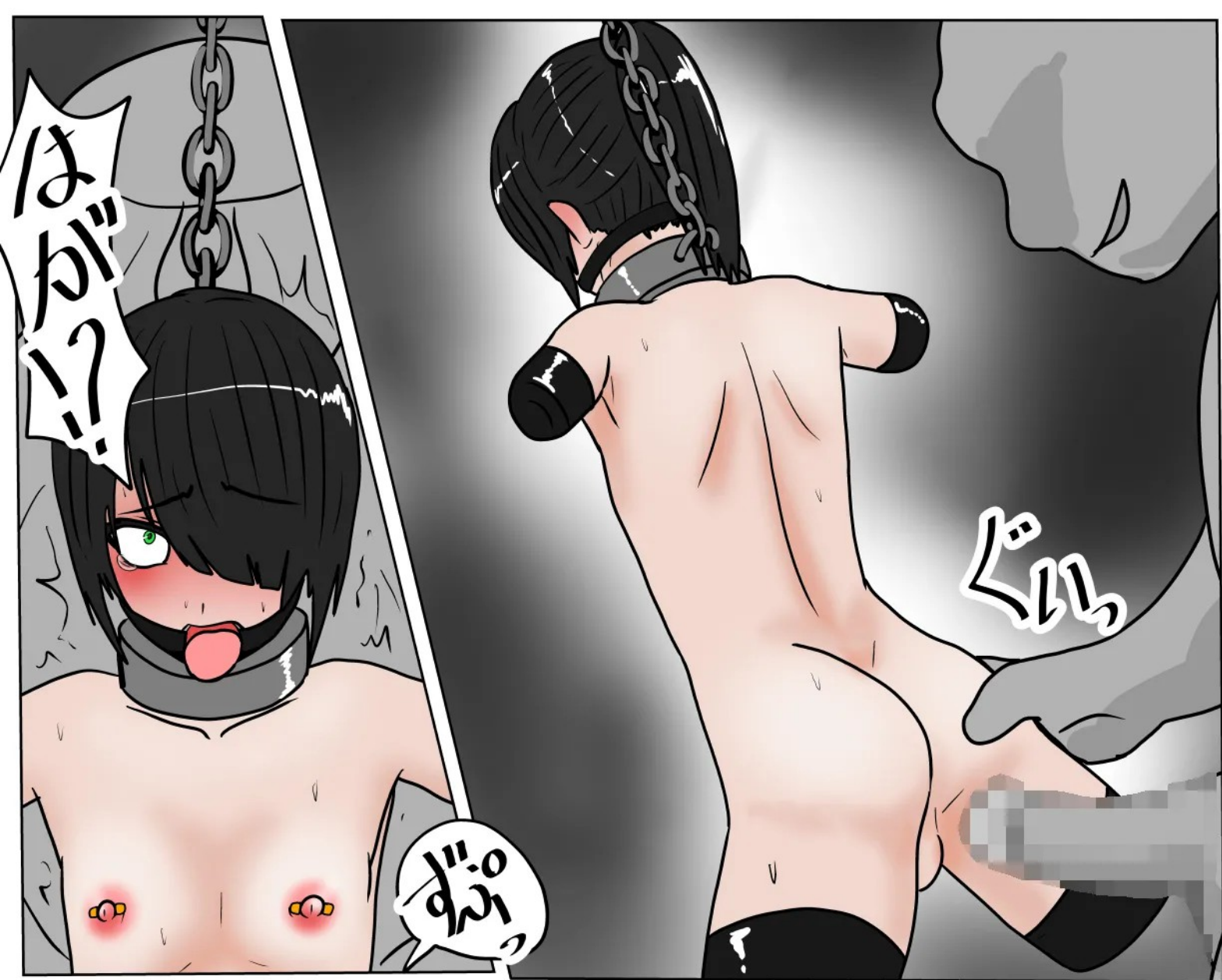
あゝ
あゝ

あゝ
あゝ



仕方ない
仕方ない
あはははははははは！

まあ勇者殿も
男の子ですからな、
仕方ないことですな。



気にせず
親子の再開を楽しみなさい
私は勝手に尻穴を使わせて
もらうから。



おい、せっかく息子
のチンポが起ってるんだ。
しゃぶってやれよ。





あ？ 反抗するの？
また木馬に乗って
町を一周するか？

ぐぐ

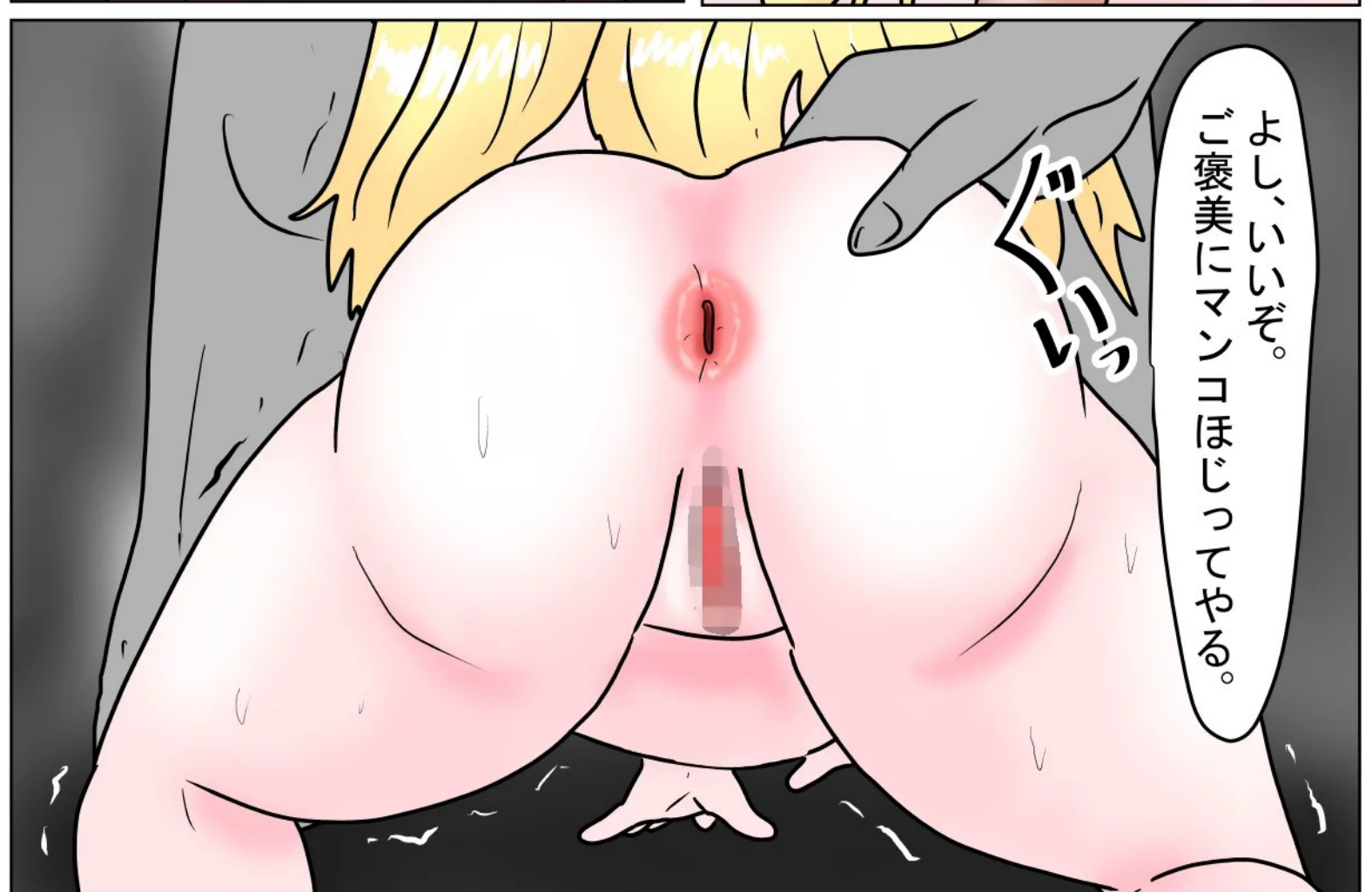


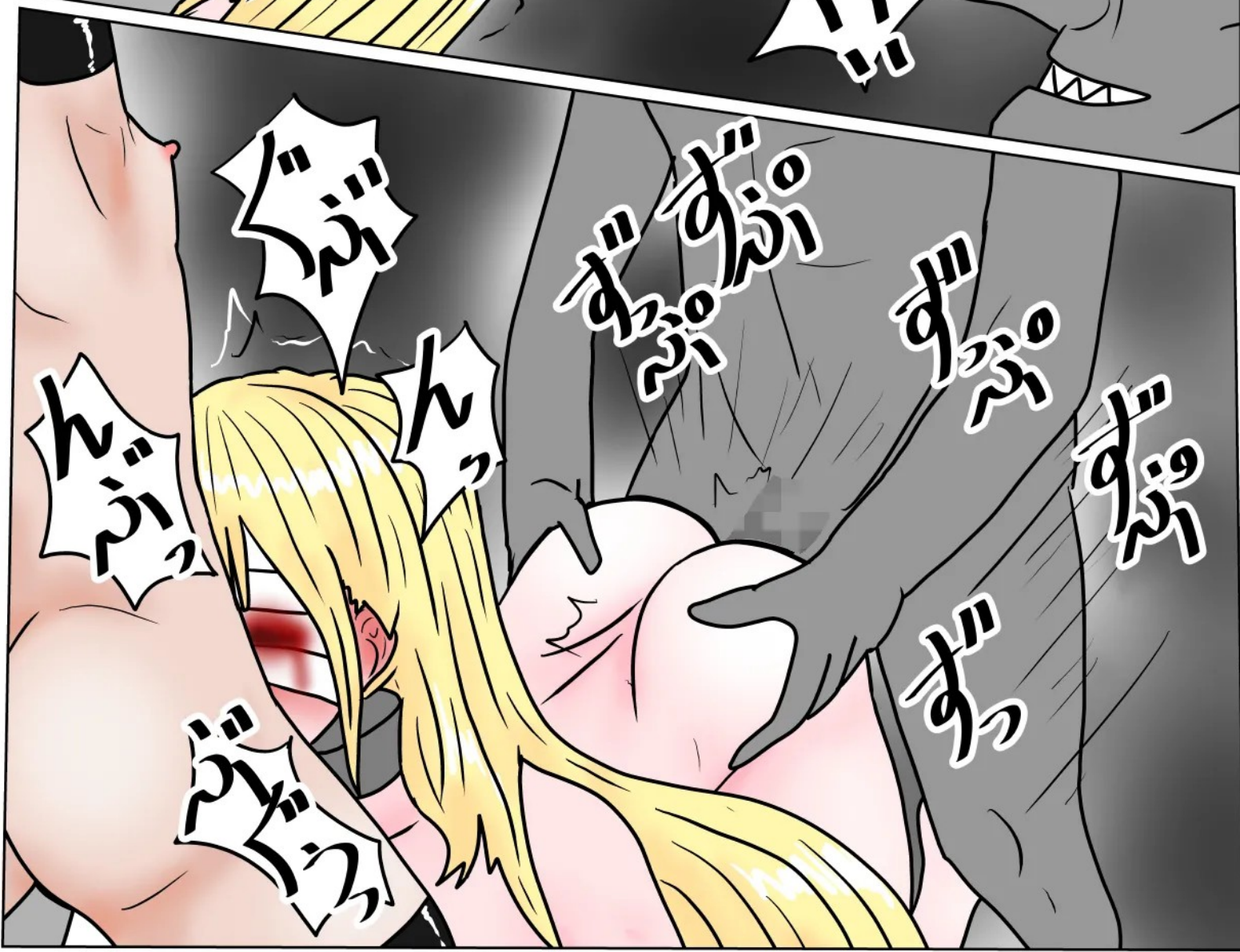
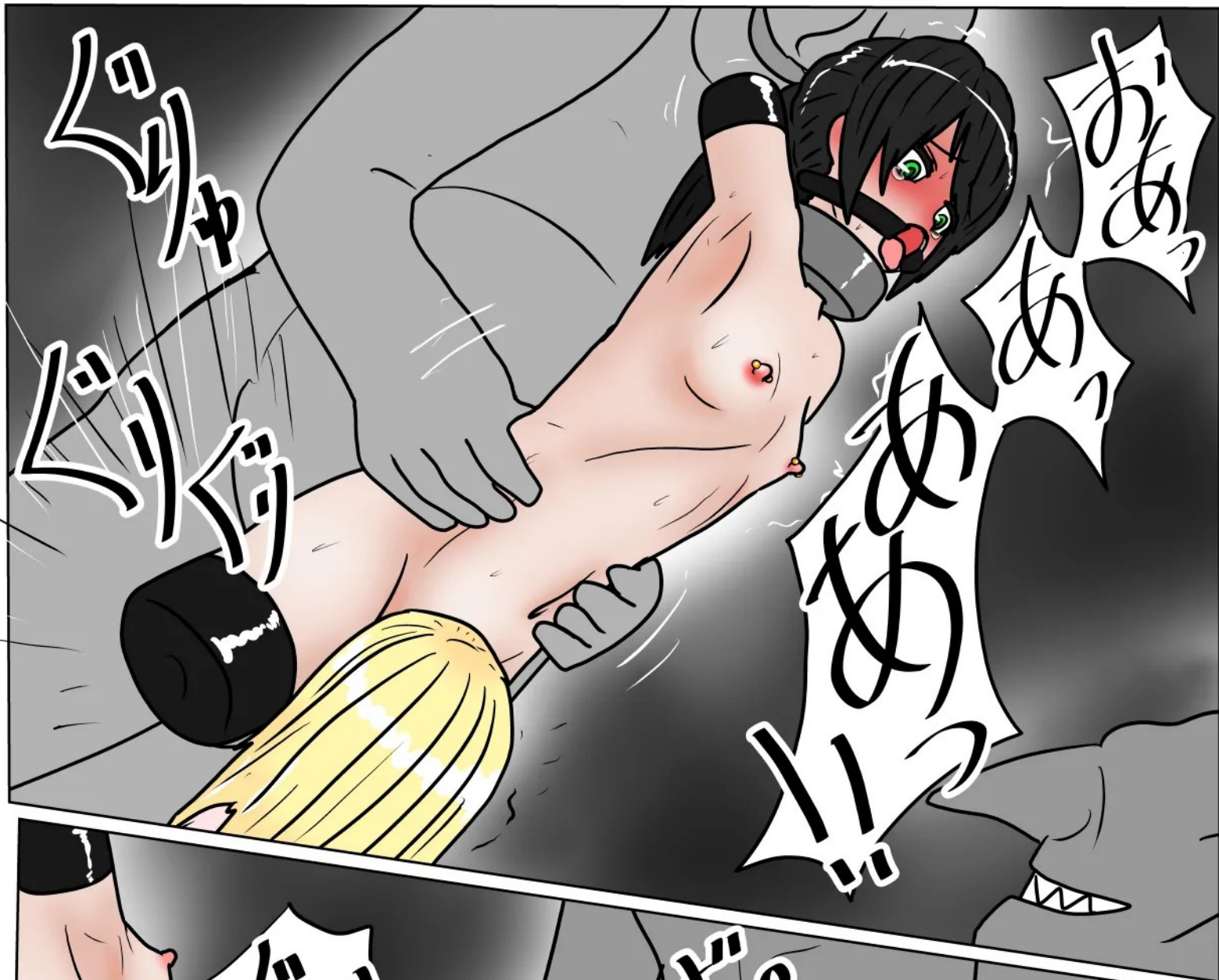
ごめんね、
ルーク…

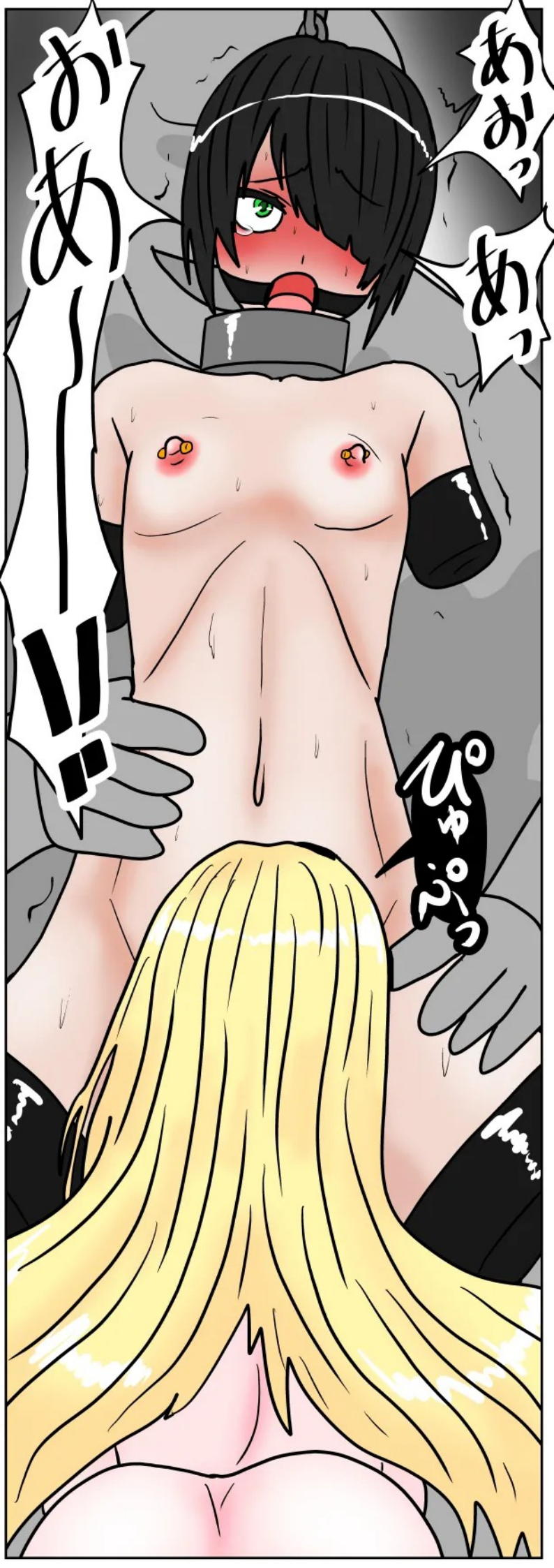


はあはま…





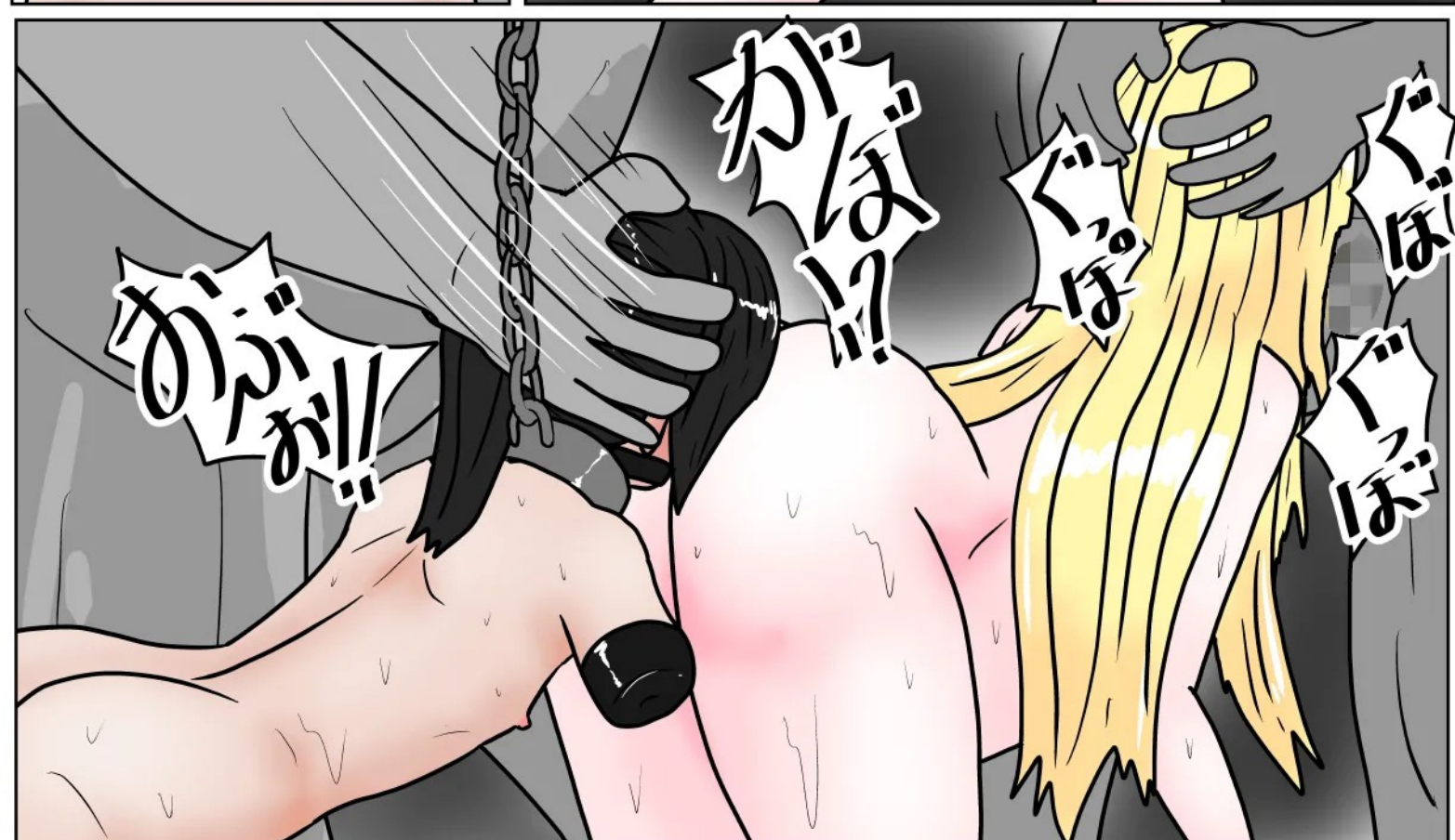


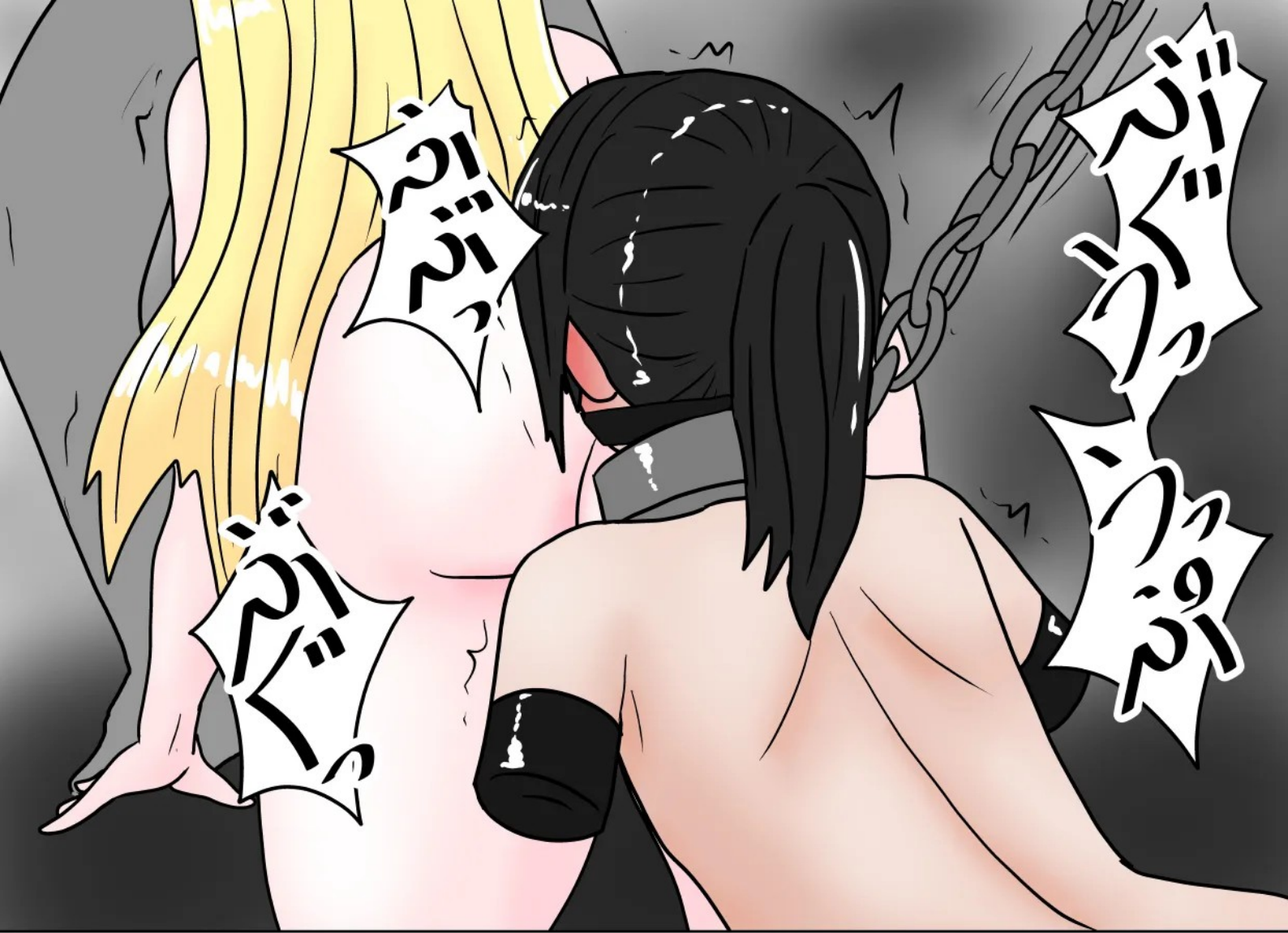




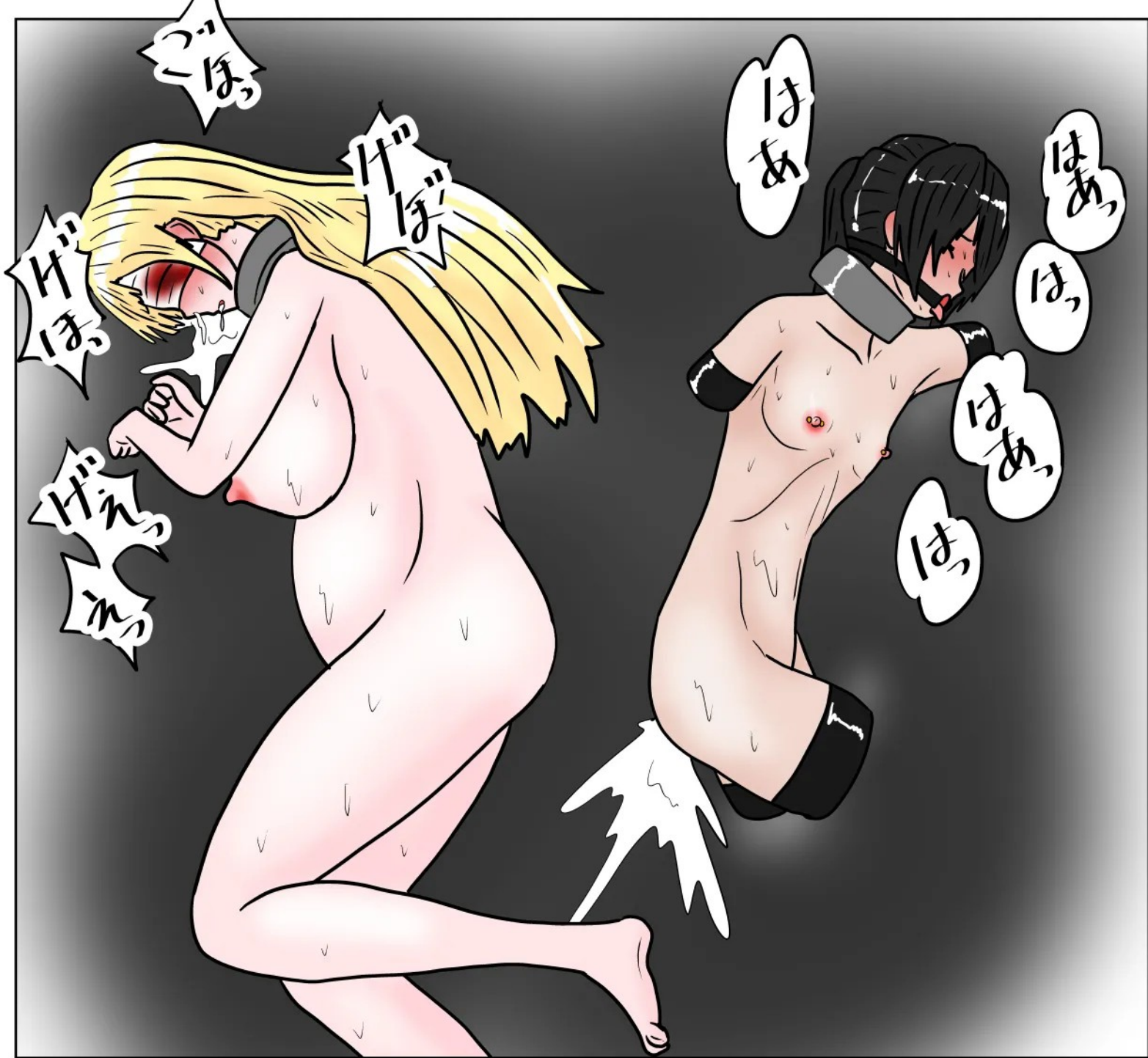


ほら、今度は勇者殿が
お母様のお尻を
なめてあげなさい









さて勇者殿、
私は暴力は好まないが、
ルールを破ることもまた好まない。

主人に反抗する奴隷には、
厳しい罰を与えるのがルールだ。

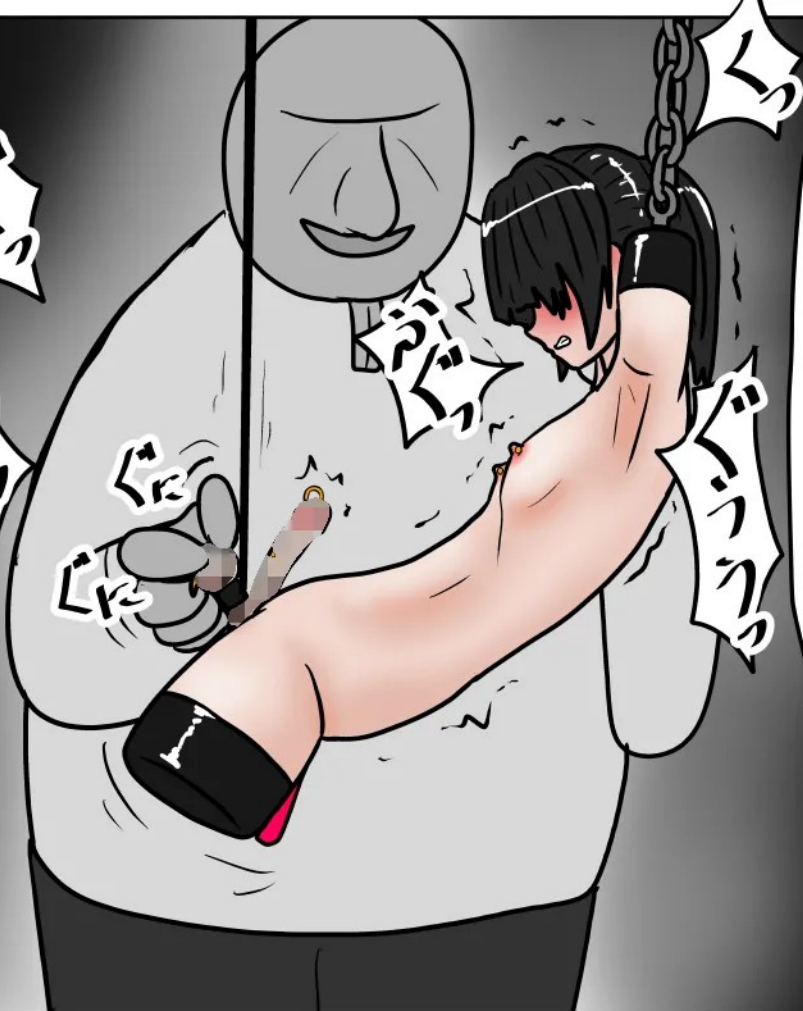
昨日、私に反抗したね。

罰を与える。
反省しなさい。



罰は罰として与えるが、
約束したことは守る主義でね。
今日、勇者殿の妹が来ます。

妹の前で、
この無様な姿を
さらすといい。



レイ……が、来る……？

はあ

は

ずるずる

は

ずる
ずる





や、パルパさん、
こんにちわ。



こんにちわ、パルパ様
イシカワサン様の
愛玩人形を務めております、
レイ・バシユケと申します。

本日は兄との再開の場を
用意していただき、
ありがとうございます。

ぺり

おお、これはこれは、
かわいらしくて行儀のいい
お嬢さんだ。

ご主人の教育が
行き届いておりますな！

ははは、最初はどうなることかと
気を揉むことも多かったですが、

丁寧に根気強く
指導してきましたからね。

女の子は素直で
呑み込みも早いですからな。

うちのルークは
ほら、あの通り、

いまだに反抗的な態度を
とることがあって、
今もああして反省中です。

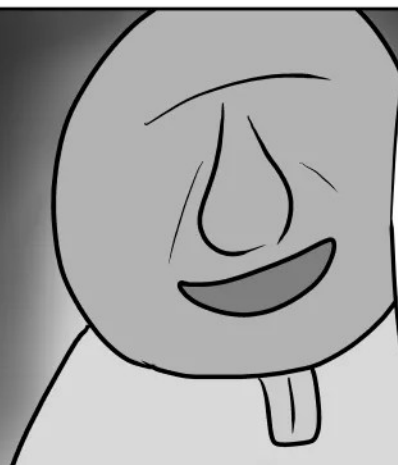


男の子の物覚えの悪さは仕方ないことです。

根気強く続けること。それ以上の正解はありませんよ。



レイちゃんは、兄さんと話したいことがあるんじゃないかい？



そうだね、私らは仕事の話もあるから、

レイは兄上と少し話してくるといい。



お気遣いありがとうございます、パルパ様、ご主人様。









酷いこと……ね、

ふっ



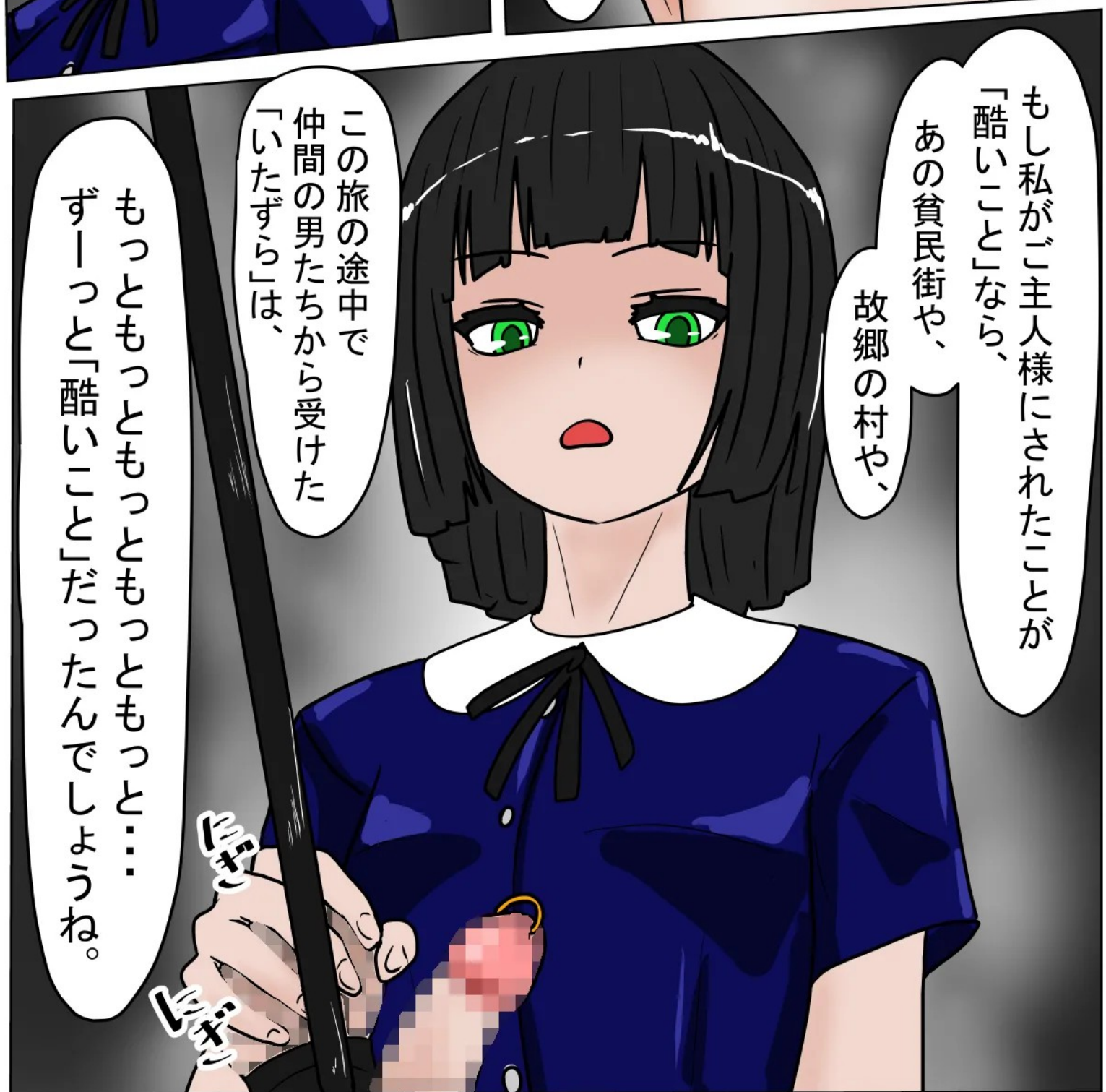
レイも……
酷いことをされたのか……？

はっ

はっ

はっ

……！



もし私がご主人様にされたことが
「酷いこと」なら、

あの貧民街や、

故郷の村や、

この旅の途中で
仲間の男たちから受けた
「いたずら」は、

もっとももっとももっとも……
ずーっと「酷いこと」だったんでしょね。

はっ

はっ

兄さんは知らないよね、

私が兄さんと知り合ったとき、
私はもう処女じゃなかった。



兄さんの「妹」になったとき、
私はとつくに経験人数
100人を超えていたんだよ。



故郷の村で…
あの小さな村で、



私を犯さなかった男は、
小さな子供以外は
兄さんだけだった。



討伐隊に入ってから、
野營のたびに他の冒険者や
騎士に犯された。



hah

だ

おー

44



アルティナ様も、

二ナも、

クロウさんも、

母様も……
それを知ってた。

あゝ

あゝ

あゝ

っ
ちゅ

っ
ちゅ

っ
ちゅ

っ
ちゅ

知っていて
誰も止めなかったし、

誰も咎め^{とが}もしなかった。

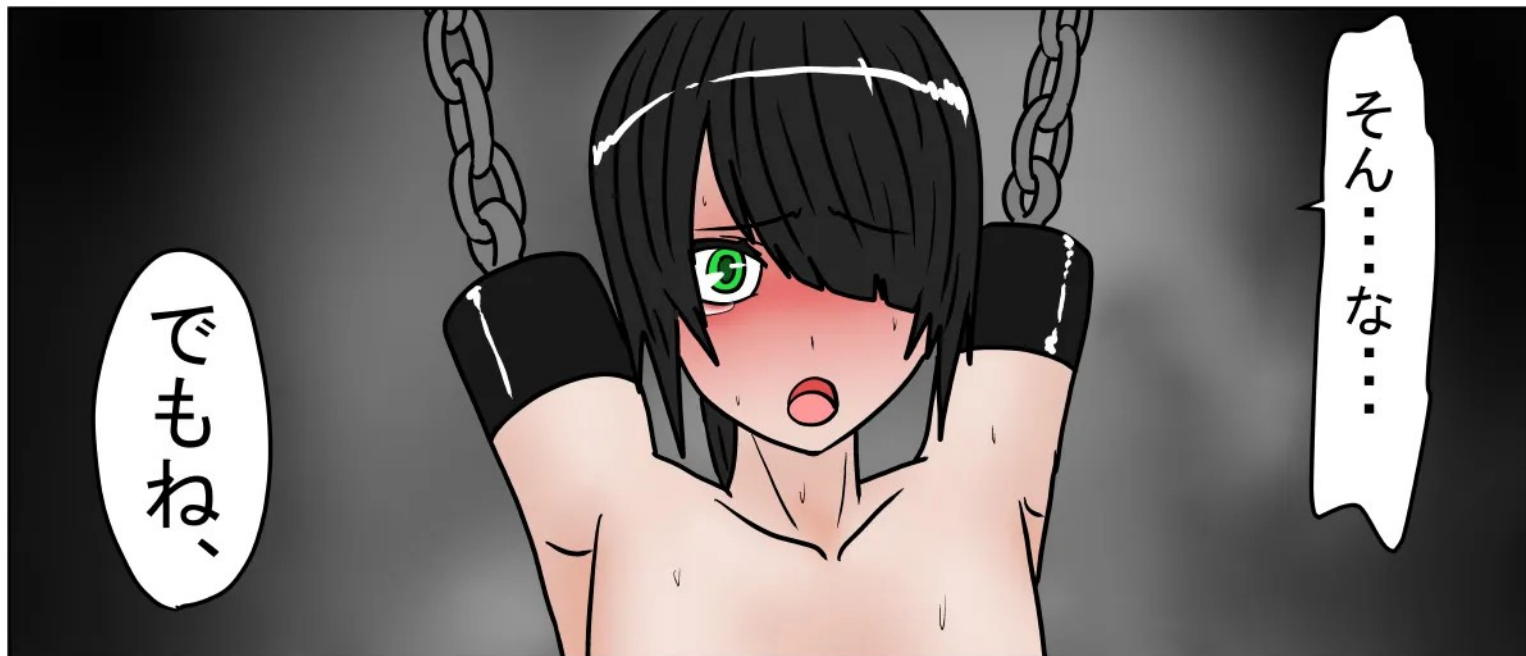


私自身も、
それが普通なんだと
思ってた。

孤児で、女で、
ろくに仕事のできない
半人前のガキだから。

それが普通だと思ってた。

思ってたんだよ。



そん……な……

でもね、



ご主人様はね、
服を買ってくれた。

冒険者用の、
分厚くてゴワゴワした服や、
男を誘うための薄くて
ひらひらした服じゃないよ。

手触りがよくて、
暖かくて、
着心地のいい服。

食事もね、
朝晩だけじゃないの。
昼にも軽食が出るんだよ。

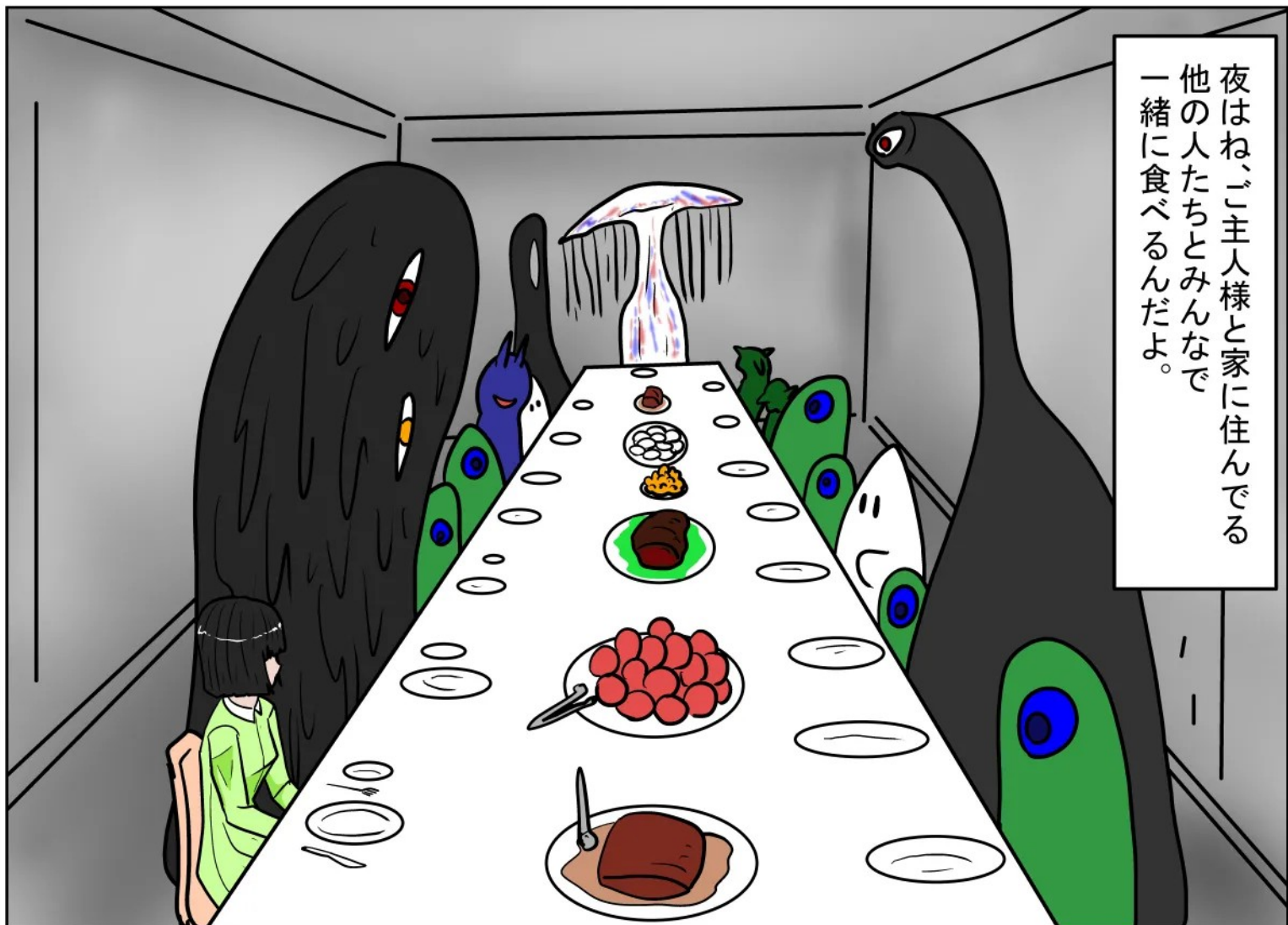
何度も焼いた固いパンや、
野菜くずの
スープじゃないよ。

朝はね、焼いた燻製肉に
鳥の卵、
野菜に甘酸っぱいソースを
絡めたもの、
軽く焼かれた薄いパンに、
牛のミルクまであるの。

昼は薄いパンに肉や野菜を
挟んだ料理が多いかな。
具材はないけど味が濃いスープ、
砂糖がたっぷり入った甘いお茶。

ムジツギダメだよ

夜はね、ご主人様と家に住んでる
他の人たちとみんな
一緒に食べるんだよ。



お祭りの日の
食事じゃないよ。
毎日こうなの。

大きな塊肉や魚を、ご主人様が切り分けてくれるの。
香味野菜のたっぷり入ったスープに、フルーツもたくさん
お皿に盛られたものを全部食べると、ご主人様は必ず
「もっと食べるか？」って聞いてくるの。

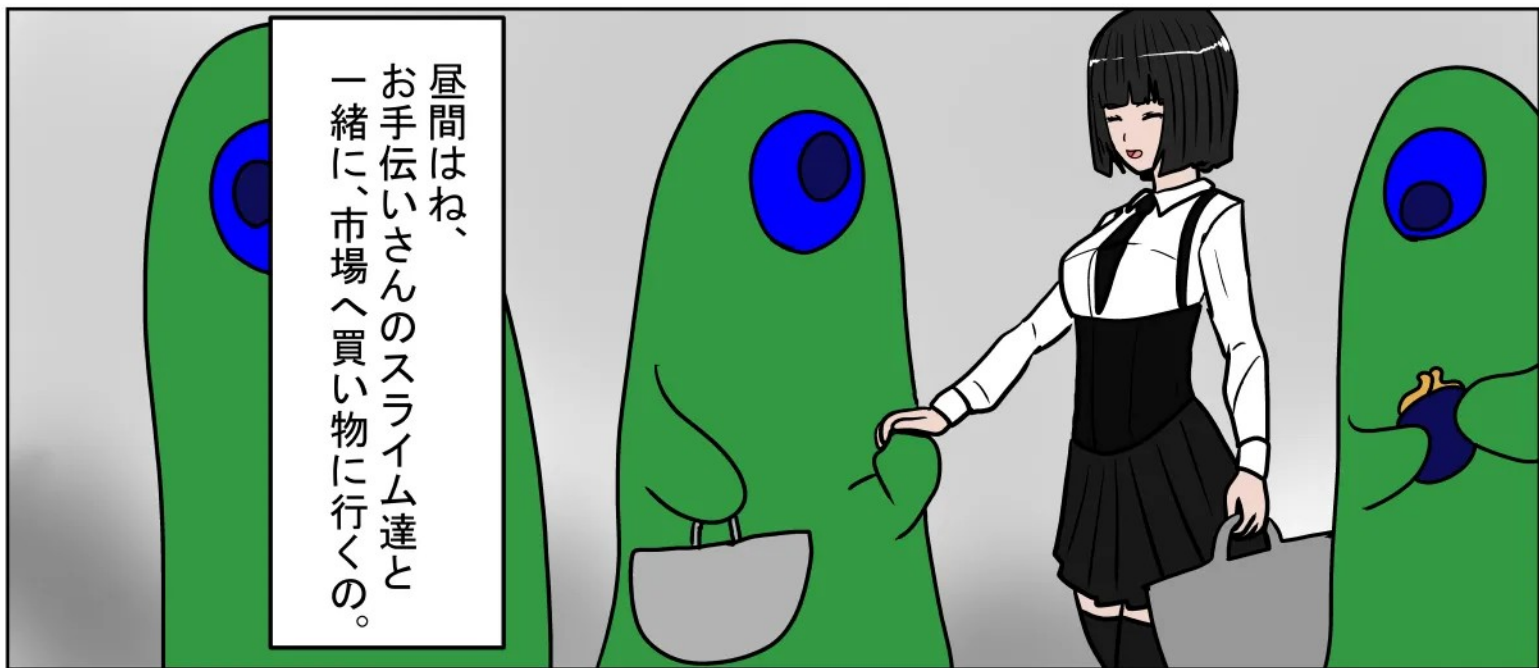


最初私、今度はいっ食べられるか
わからないと思って、
限界までおなかに詰め込んだんだ。

レイ、肘つかない

でもそんな心配を
する必要なかった。
毎日こうなんだもん。





昼間はね、
お手伝いさんのスライム達と
一緒に、市場へ買い物に行くの。



市場の商人はほとんど人間だった。
買い物に来るのも半分くらい人間。
もちろん魔族もいっぱいだよ。
一番多いのはスライムで、次にゴブリン。

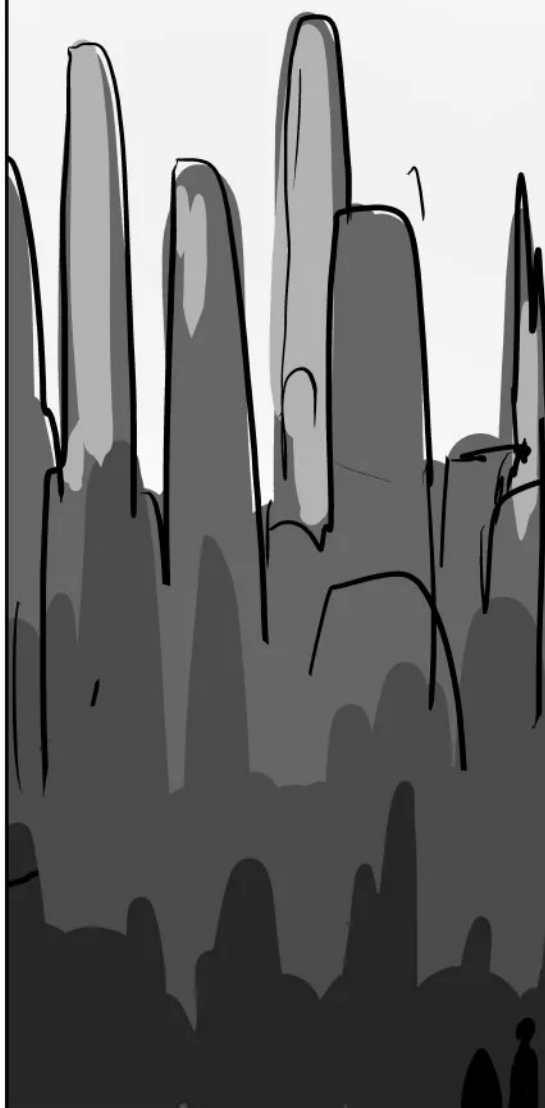
他にはオークやデーモン、サキュバスも。
見たことないヒト達もいっぱいいた。
あ、エルフも見えたよ。
おとぎ話でしか聞いたことなかったけど、
お話の通りですっごくきれいだった。

魔族だからって人を襲ったりしないよ。
同じ国の、同じ国民なんだって。
最初はオークとかゴブリンとか怖かったけど、
今はもう全然平気。



ああそうだ、スライムってしゃべれるの知ってた？
すぐく人懐っこくて、数も多いから、
友達がもう100人くらいできたよ。
全部同じだから見分けがつかないんだけど、
スライムはそういうの気にしないでいいんだって。

兄さんは帝都を見た？
神聖帝国の聖都よりずっと大きくて、
人も物もあふれてる。
それなのに、貧民街も娼館通りも無いんだよ。



お金や仕事がない人は、
魔王城に行つて
魔王様のお手伝いをするの。



娼館はサキュバスが管理する
公営娼館だけ。
女の人が勝手に体売るのは、
サキュバスの権利を侵害
するからダメなんだって。



お手伝いさんの買い物を手伝って、
家に帰るとお勉強の時間なの。



本当は私の年齢だと学校に通わなきゃ
いけないんだけど、
すぐ学校に行っても勉強について
いけないから、まず家で勉強して、
来年から学校に行くんだ。

夜はね、ご主人様と一緒にお風呂に入るの。



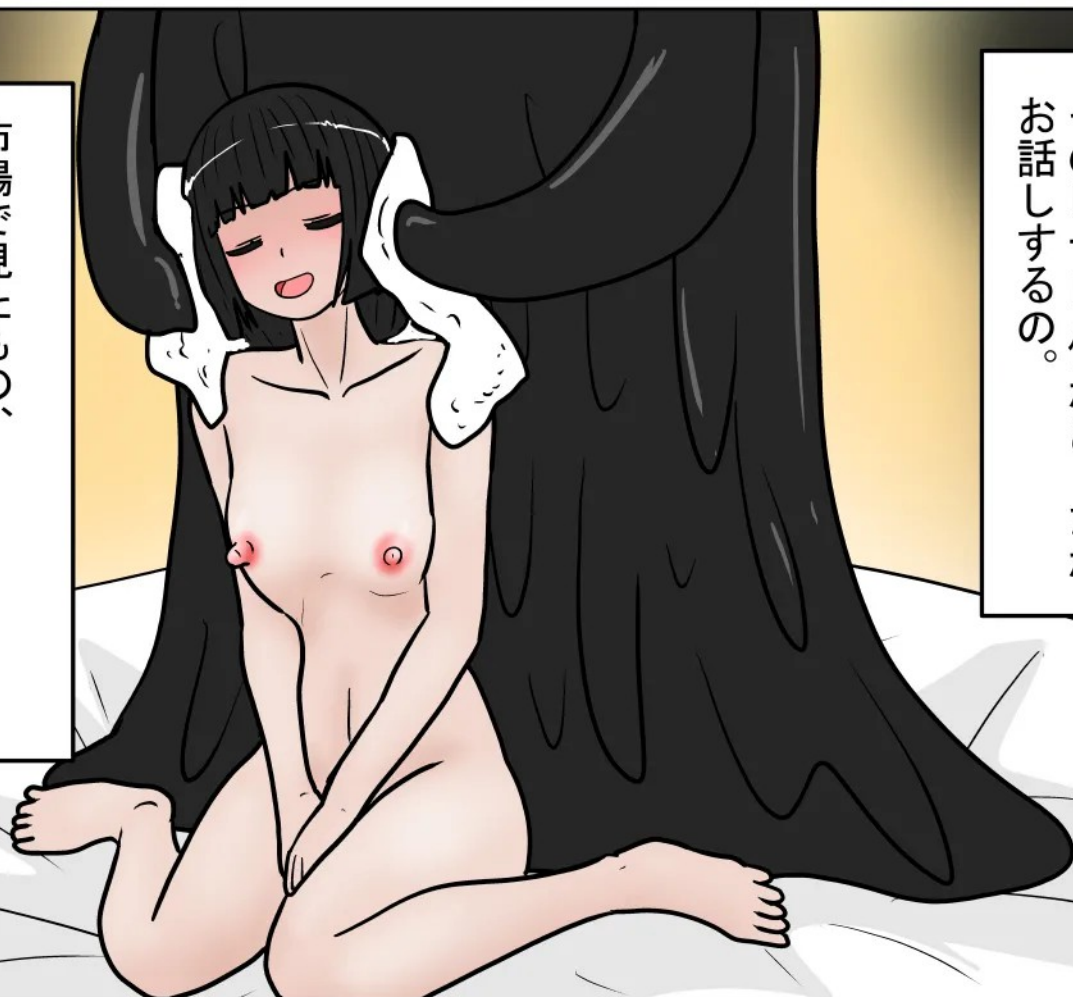
毎日だよ？
毎日お風呂に入って、
毎日ご主人様が髪を洗ってくれるの。

ご主人様はね、
私の髪をきれいだって
褒めてくれるんだよ。



今まではシラミがわくから短く切ってたけど、
毎日洗ってあげるから、これからは伸ばしなさいって。
腰まで伸ばしたらお姫様みたいになるって。

お風呂の後はね、
髪を乾かしながら、
その日一日、何があったか
お話しするの。



市場で見たもの、
勉強したこと、
ほかの子たちと話したこと……
私だけじゃなくて、
ご主人様の仕事の話も聞くんだよ。

あ、でも兄さんには仕事の話、
教えられないや。

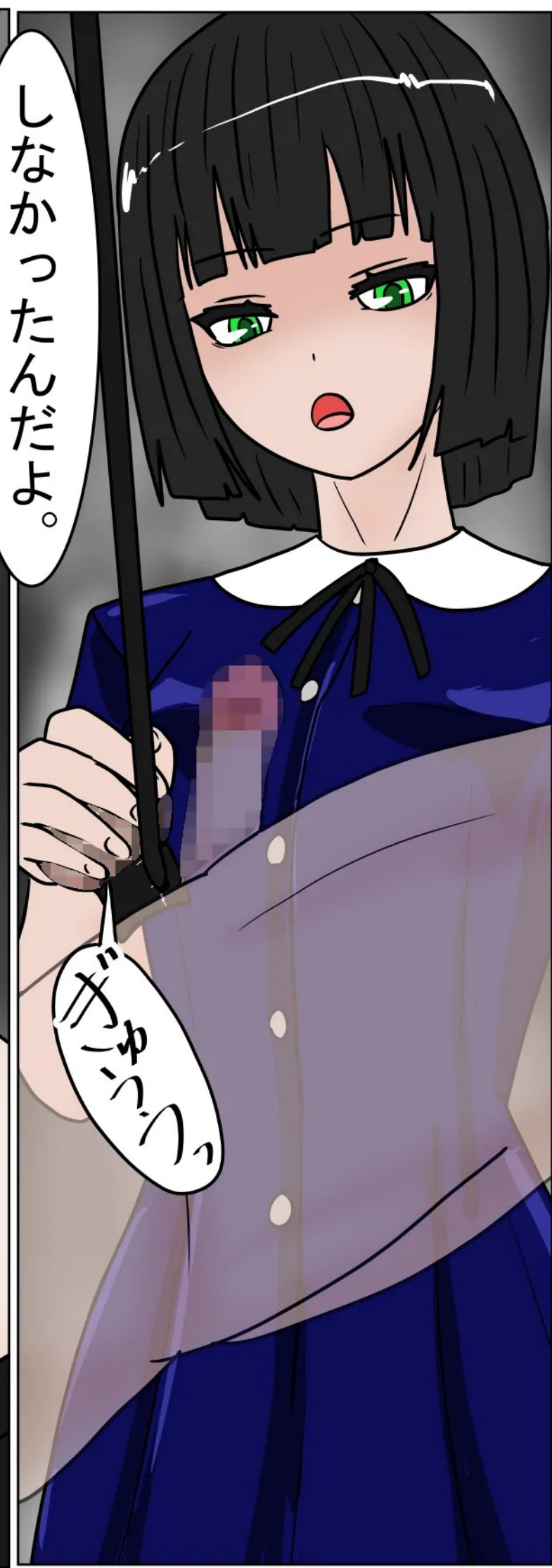
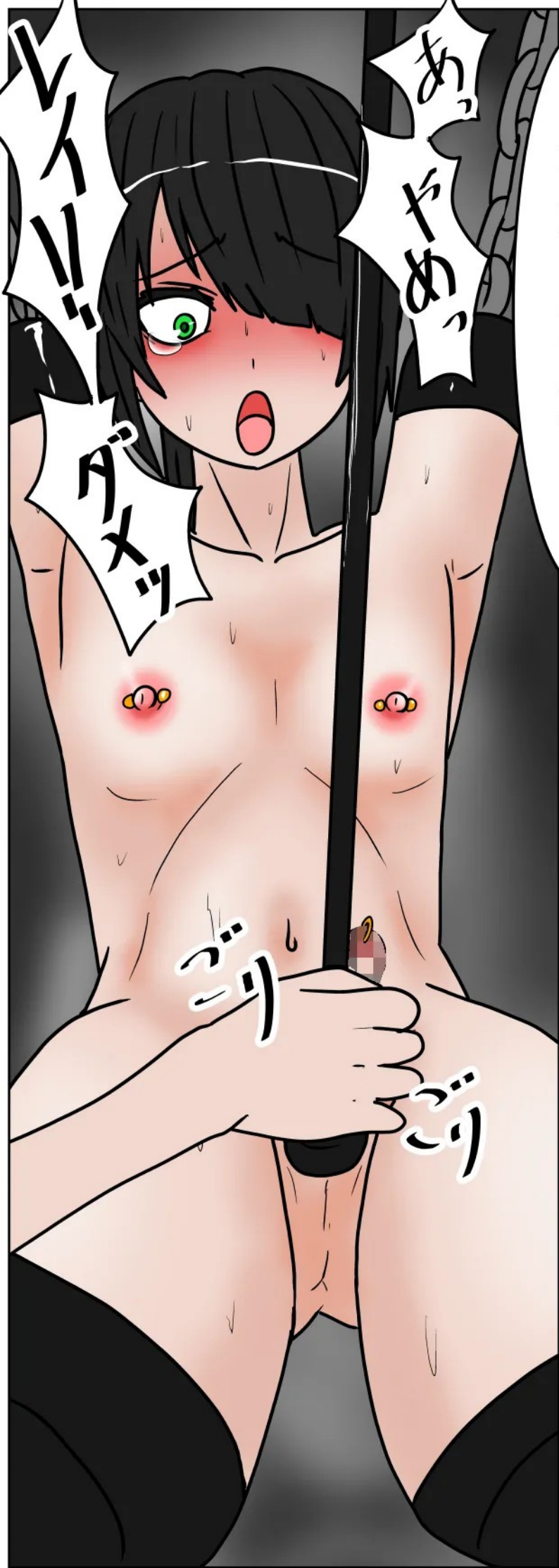
兄さんは「敵国」の
「破壊工作員」なんだもんね。

ぐに

ズリ

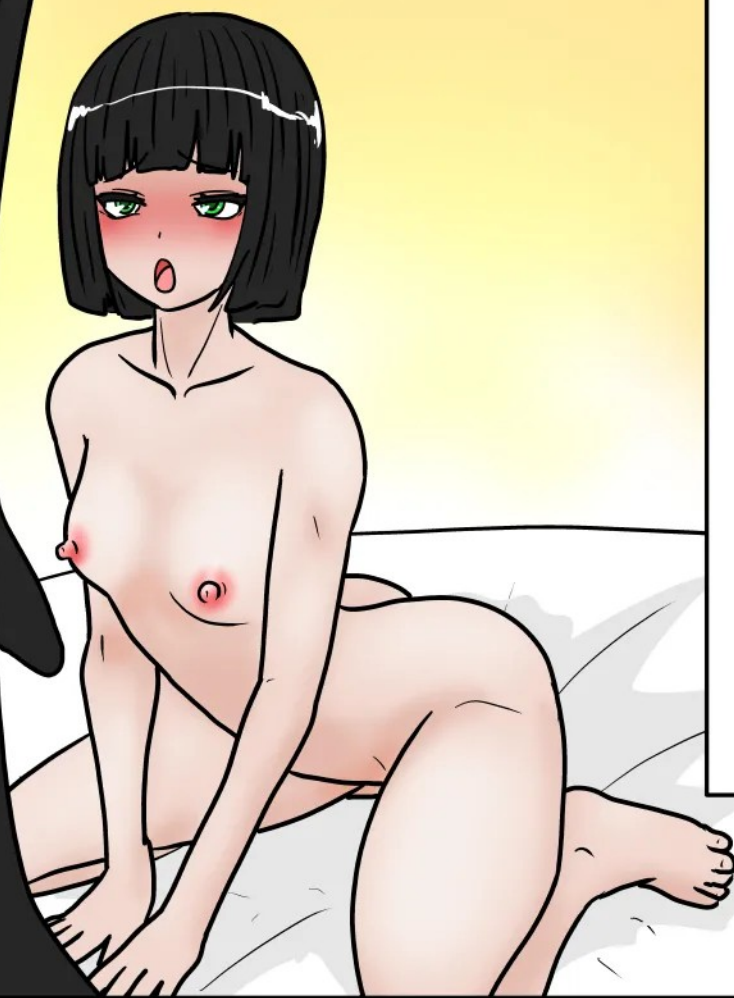
ふかふかのベッドの上で
いっぱいお話しして、
夜はそのままご主人様と一緒に寝るの。

ご主人様は寝るとき、
私のことを抱きしめてくれるけど、
「いたずら」はしてこなかった。



そんな生活が1月ばかり続いた後、
私はご主人様に思い切って言ったんだ。

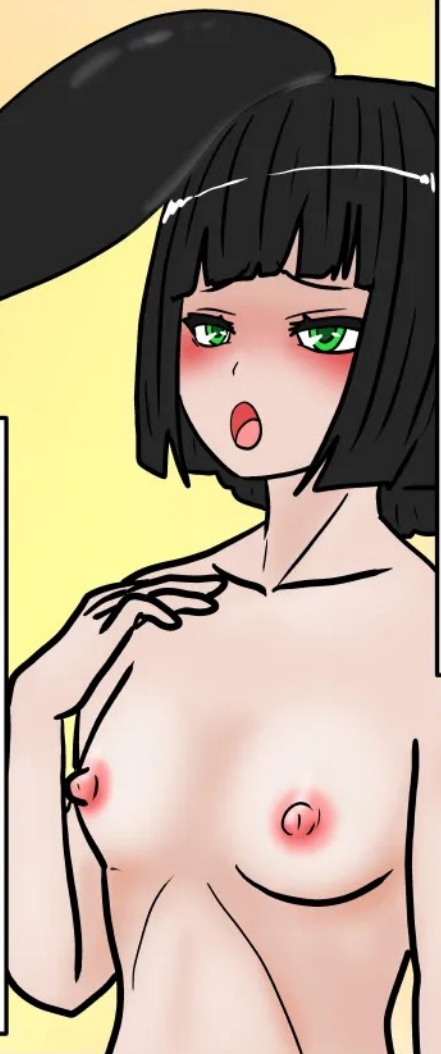
「私のことを抱いてください」って。
「私の体で遊んでください」って。



その時ご主人様は、
やりたくないことはしなくていいって
言ってくれたけど、私は怖かったの。

もっとご主人様に気に入られないと、
この生活が無くなってしまう。
ご主人様に必要とされないと、
この生活が続かないって。

だから私は、
私の体を使ってくださいって
必死でお願いした。





ご主人様は触手で私を包み込んで、
いろんな場所をいっぱい触ったり、
優しくなでたりした。

抓ったり引つ掻いたりはしなかった
優しく触り過ぎて、
むしろくすぐったいくらいだった。

先端が男性器に似た
触手が出てきたとき、
痛みに耐えるために
身構えたけど、
そんな心配は必要なかった。





ねえ、兄さんは知っていた？
女でも、男みたいに
気持ちよくなれるんだよ。

私はご主人様に抱かれるまで
知らなかったよ。

何十人も、何百人も
男性経験があるのにな



男は自分が気持ちよくなるために、
女を痛めつけるものだと思ってた。



男が気持ちよくなるために、
女は痛みにも耐えなきゃ
いけないんだと思ってた。

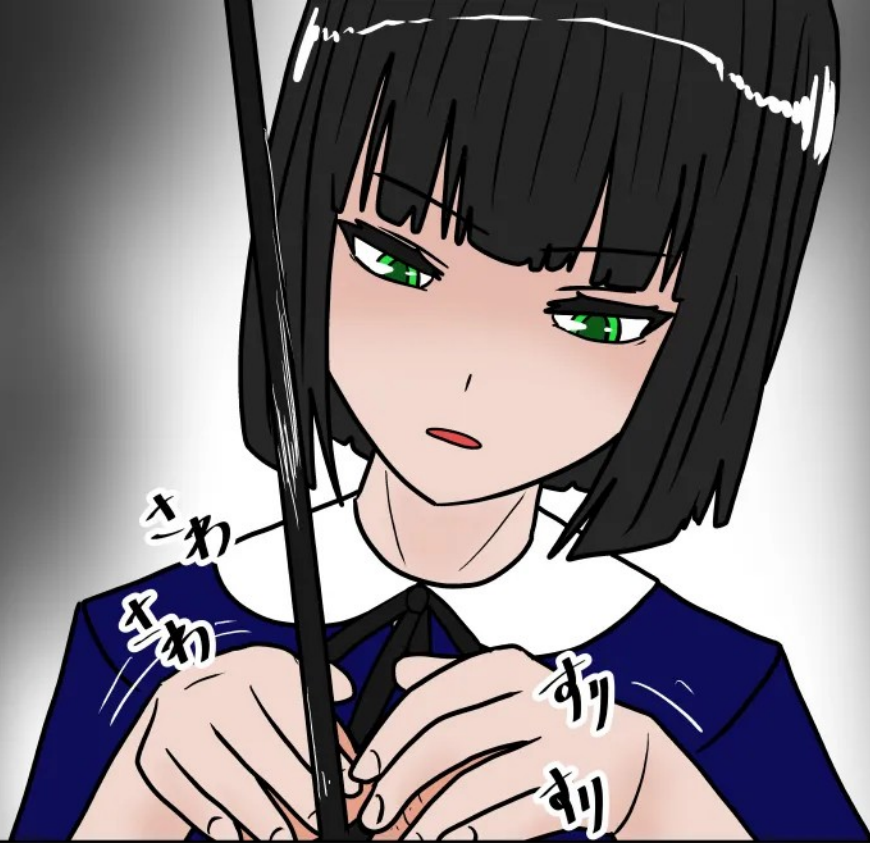


男の機嫌を取るために、
女は傷つかなきゃいけないんだと
思っていた。



全部違ったんだね。

私、気付いちやった。



魔族が敵だなんて、嘘。

魔王様が悪者なのも、嘘。

騎士団が国民を守るなんて、嘘。

冒険者が人々を守るなんてのも、嘘。



神聖帝国も、騎士団も、
冒険者ギルドも、星捧社も、

アルティナ様も、クロウさんも、
二ナも、母様も……

ペッ
ッ

ぐ
ッ

い
た

ば
た

ば
た

ば
た

みんな嘘つき



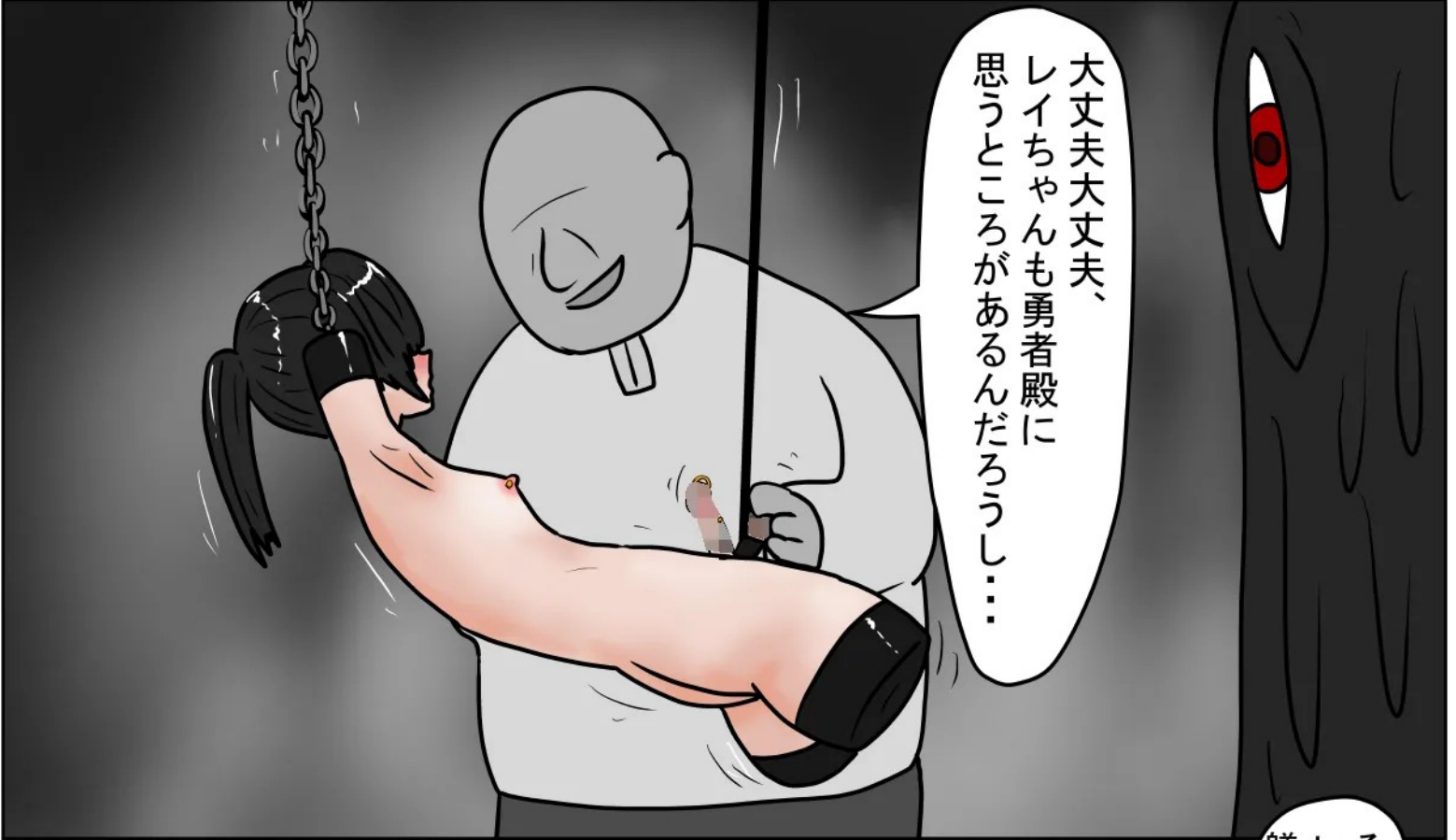


やめやめ
やめやめ
やめやめ

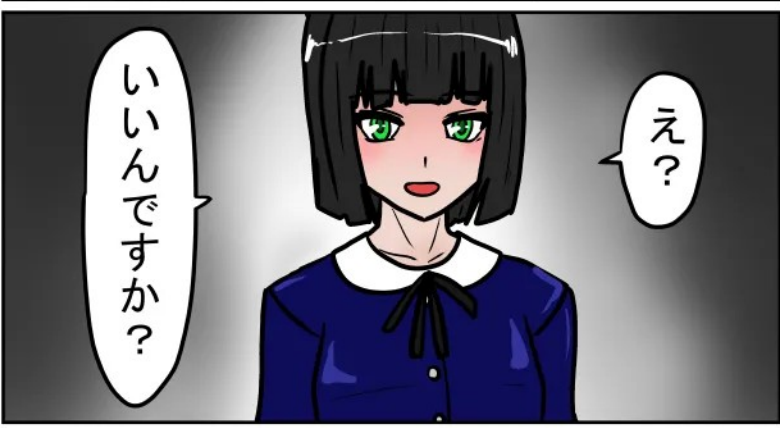
ねえ兄さん、
兄さんは知っていたの？

ぐり
わわわわ
わわわわ





大丈夫大丈夫、
レイちゃんも勇者殿に
思うところがあるんだろうし…



いいんですか？

え？



そうだ、もしよかったら
レイちゃんも勇者殿を
賤けてみるかい？



ああ、私も仕事で家を
空けることが多いのでね、
かわりに賤をしてくれる
人がいると助かるんだ。

ほかの男に任せるのは
何かと不安だが、
妹さんであれば
安心して任せられる。



ぜひともやらせてください！

ふふ、兄さん…

覚悟してくださいね。



めと書き

普段はヒロイン1人を最初から最後まで徹底的に溺るような形で作っていますが、今作ではヒロイン5人+男の娘1人でNTR要素をぶち込んでみました。

楽しんでもいただきましたでしょうか？

感想・レビュー等いただけると助かります。

なお、妹ちゃんが切り刻まれて泣き叫ぶような展開を期待して買ってしまった方には大変申し訳ないと思っています。ごめんなさい。

リョナ・ダルマ系のマンガばかり描いておいて今更ですが、私は何の罪もない女の子が理不尽な暴力に晒されるような話は好きではないです。

やはり暴力・凌辱・拷問は、それにふさわしい「理由」を持ったヒロインにぶつけてこそ最大限に楽しめるとしています。

今後の予定

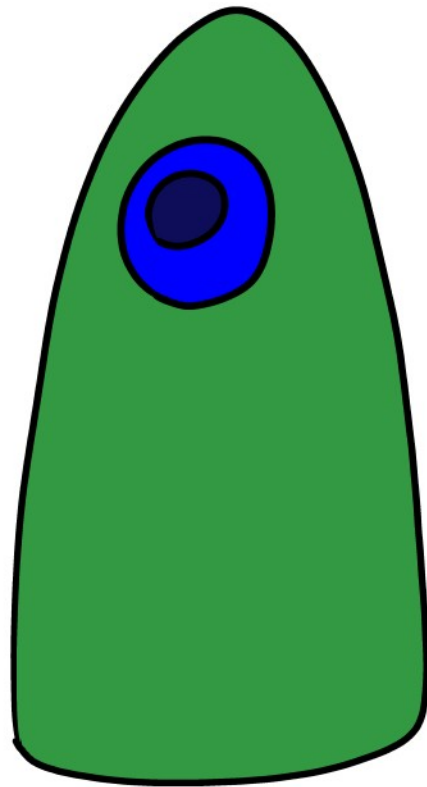
4月、5月に短編1作ずつ

7月ごろ「地獄の鬼シリーズ」の新作

せちがうい
な



年金の支払いのために
かせばならぬとまづい



村Y総研 2025/3/5

ねえ見て見て！
兄さんをいじめるためのおもちや、
買ってもらっちゃった

竿も玉も、
兄さんのふにやふにや雑魚チンより
3倍はあるよ

これでバックから突くと、
お尻をぐちゃぐちゃに掘り返しながら
玉をゴリゴリ叩き潰せるんだよ！

ふんっ
ふんっ
ふんっ

ふんっ

ふんっ
ふんっ





おあ

が

が

が

が

んあ

いあ
ほ

あああ

ねえ兄さん、パルパ様がね、
兄さんの玉を一つ
私にくれるって。

何をしてもいいんだって。

ねえ、兄さん、どうしよっか？

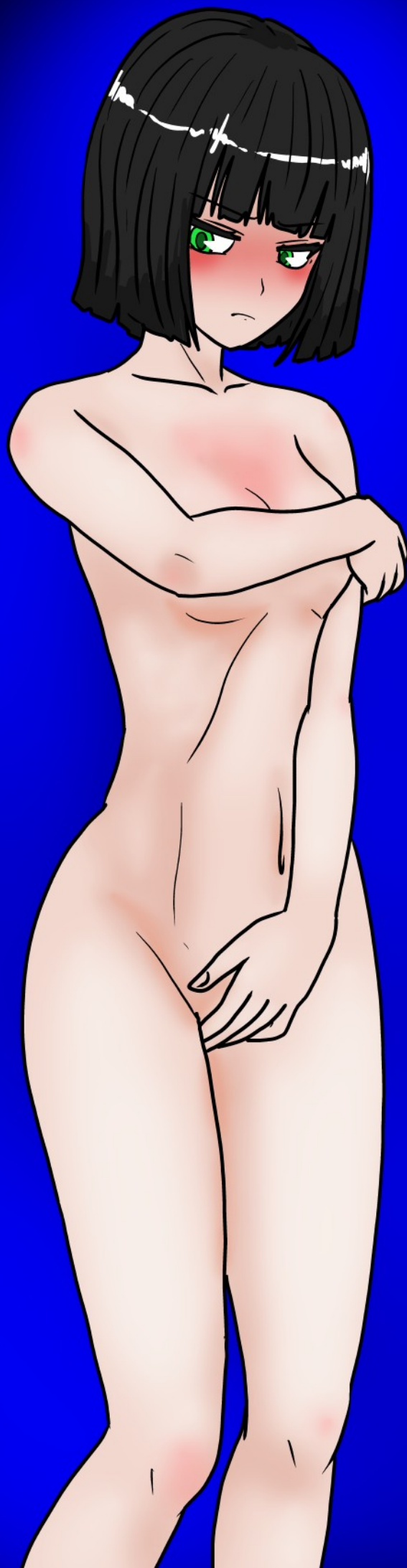
あ、潰すことはもう決まってるから。

いつ、どういう方法で潰すかが問題だね。
兄さんはどんな方法がいい？

今、この場で潰しちゃおうか？







次作予告

「魔女狩り」

「尋問報告書」

この2人をボコボコのぐちゃぐちゃにします



以下、広告

本作と同世界観の作品(左上から発表順)



亡国王女の末路



亡国王子の末路



魔女墮とし



魔王様と
小さな寵姫ちゃん



ロリサキュバスは
人間に捕まると
どうなるの？



亡国ダークエルフの
末路



地獄の鬼になったので拷問してみた

地獄の鬼に転職した男が、
地獄に落ちた悪い女をボコボコにするシリーズ



1～5まで収録した、総集編 1 を発売中



↑ 最新刊

次刊 (8) は夏頃発売予定

生贄の巫女が悪い神様に エロいことされるお話



新しく始めたシリーズ

痛い系控えめ、超酷い系は(いまのところ)なし。